



第3回 Student Formula SAE Competition of JAPAN

# 全日本 学生フォーミュラ大会

9/6(火)~9(金)

富士スピードウェイ

2005

公式プログラム

ものづくり・デザインコンペティション  
学生が自ら構想・設計・製作した車両による競技会



主催：社団法人自動車技術会



後援：文部科学省、経済産業省、国土交通省、静岡県、社団法人日本自動車工業会、NHK、東京放送、フジテレビジョン、テレビ朝日、朝日新聞社、読売新聞社、毎日新聞社、日本経済新聞社、日刊工業新聞社、フジサンケイ ビジネスアイ、日刊自動車新聞社、FISITA





ご祝辞	3
Congratulatory Message	
ごあいさつ	4
Introduction	
大会のコンセプト	28
Concept	
競技スケジュール	29
Schedule of Competitive Events in 2005	
競技概要	30
Outline of Competition	
大会ルールの概要	31
Outline of Rules Governing Competitive Events	
表彰	32
Awards	
参加チーム【車両スペック】	33~40
Participating Teams(Vehicle Specifications)	
チームメンバーとスポンサー	41~48
Team Members and Sponsors	
主催・後援・協賛・大会スタッフ	49
Organisers/Sponsors/Co-Sponsors/Competition Staff	
委員会組織	50
Committee Member	
Formula SAE®とは	51
About Formula SAE®-Competition Overview	
大会開催の経緯	52
History of Competition	
第1回大会ドキュメント	53
1st Competition Results	
第2回大会ドキュメント	54
2nd Competition Results	
第2回大会参戦記	55~56
2nd Competition Report	
大会グラビア	57~58
Competition of Photos	



### WARNING

Despite the organisers taking all reasonable precautions, unavoidable accidents can happen. In respect of these, you are present at your own risk.

### 第3回 全日本 学生フォーミュラ大会開催を祝して

Congratulatory Message for The 3<sup>rd</sup> Student Formula SAE Competiton of Japan



2005年9月6日  
文部科学大臣  
中山 成彬

第3回全日本 学生フォーミュラ大会の開催を、心からお慶びを申し上げます。

第3回目を迎える本大会におきましては、前回の大会に参加した28チームに比べ、海外の3チームを含めて45チームがエントリーするという盛大な大会になるとのことですが、この大会は、日ごろの授業に加えて、学生たちが車の企画・設計・製作・試験というものづくりを通して、工学の基礎・基本のみならず、技術者として必要となる実践的な問題解決力、コスト意識、マネジメント能力などを身に付ける機会となるものであり、大変有意義なものであると考えています。

本大会に参加される学生の皆様が、自動車産業で活躍している技術者と同様な課題に直面し、それを乗り越えるために様々な挑戦をすることは、今後技術者として産業界を支える存在になるであろう皆様にとって得がたい経験になるものと思います。この大会を契機に、皆様がさらに研鑽を積まれ、様々な場面で御活躍されることを期待しています。

本大会を主催される社団法人自動車技術会、大会の企画・運営に携わられた皆様、本大会を支えるスポンサー各位、後援・協賛の各団体の御尽力に敬意を表するとともに、本大会に出場を果たした各チームの皆様、参加各校の指導教官や関係の皆様のお健闘と御健勝をお祈りし、祝辞といたします。

### 第4回 全日本 学生フォーミュラ大会開催予定

2006年9月上旬の4日間、大会会場は第3回会場で発表します。

皆さんの参加を歓迎します。

## 第3回 全日本 学生フォーミュラ大会を迎えて

Welcome to 3<sup>rd</sup> Student Formula SAE Competition of Japan



2005年9月6日  
社団法人 自動車技術会 会長

萩野道義

全日本学生フォーミュラ大会は今年で第3回を迎え、海外からの3チームを含めて参加校は実に45校になりました。今年も関係者の皆さまと一緒に、毎年着実に発展する本大会を迎えられる事を大変嬉しく思います。

既に過去2回の大会を経験された方々をご存知の通り、学生フォーミュラ大会は単にクルマのスピードを競うだけのレースではありません。クルマ作りのプロセスである商品企画から、製造、性能の確認までの全てを短期間に体験し、プレゼンテーション能力を含む総合力を競い合う場です。まずどんなクルマを作りたいかをマーケティング意識とコスト意識を持って構想デザインし、最適なエンジンを選び、フレームを設計し、数々の創意工夫を盛り込んでチーム全員の力を合わせてクルマを作っていくという、夢に向かったもの作りの競技会と言えます。

学生諸君は、競技という高いレベルの実践が要求される現場で、自分たちの作るクルマという現物を前にして、数々の困難な課題に直面し、悩み、苦しむことと思います。各チームは一体となって、お互い真剣に切磋琢磨し、様々な形での戦いを繰り広げる場を実体験するでしょう。私は、諸君のチームが課題解決に果敢にチャレンジし、もの作りを通じてより大きな達成感と自信をつかみ取ることを期待すると共に、将来、それぞれの分野でこの経験が活かされるものと確信しております。

自動車技術会としては、この「極めて高いレベルでの、もの作りを体験できる場」を今後も大切に益々発展させていきます。将来的には、国内大会に加えて、皆さんが世界で力を競い合える場を創り出していくことも考えております。

また、この活動に参加または支援して頂いている、チームの皆さん、各校の先生方や諸先輩、スポンサー・後援団体の皆さま、そしてボランティア参加のスタッフメンバーを含む大会を企画運営している方々に、改めて心より御礼申し上げます。

最後に、本大会が参加者全員にとって実り多きものとなるよう、何としても安全に、心の底から楽しく、一人ひとりがしっかりとした成果を残せることを祈念して、私のご挨拶と致します。



### 競技会のコンセプト | Concept of Competition

全日本学生フォーミュラ大会は、学生たちが企画・設計・製作したフォーミュラスタイルの小型レーシングカーで競技を行います。この大会は、米国で1981年から毎年開催されている Formula SAE® (SAE International 主催) にならって開催するものです。

大学、短大、高専等の学生がチームを組み約1年かけて製作した車両を持ち寄り、コスト、プレゼンテーション、設計の静的イベント、車検、アクセラレーション、スキッドパッド、オートクロス、エンデュランスの動的イベントを4日間にわたって行い、車両性能だけでなくものづくりの総合力を競います。そして、優秀なチームを表彰します。

学生たちは、アマチュア週末レーサーに販売することを仮定して車両を製作します。したがって、加速性能、ブレーキ性能、操作性、耐久性能が優れているだけでなく、美しさ、快適さ、低コスト、メンテナンス性を高めることも要求されます。また、一日あたり4台の生産計画のもとに、その車両の実質コストは325万円以下としています。さらに、車両製作にあたっての車体フレームとエンジンに関する制約は必要最小限にすることによって、学生の知識や独創性や構想力が発揮できるように配慮しています。

これらの狙いと目標に適合した車両を設計・製作するために学生チームは挑戦します。学生たちは、車づくりを通して実践的な問題解決力や応用力、旺盛な行動力やマネジメント能力など教室では培うことが難しい貴重な経験を積むこととなります。

### 大会運営の基本方針 | General Policy on Operation Competition

大会運営の最優先事項は、事故のない安全な大会です。そのためには、大会スタッフとチームメンバーとの意思疎通を良くすること、規律のある言動を重視します。

3回目を迎える今年の大会は、昨年に引き続き、将来オープンな国際大会とするためのステップとして海外チームを受け入れ、国際的な大会運営ノウハウの蓄積を図ります。

## 大会スポンサー

#### 【SSクラス】

トヨタ自動車株式会社

#### 【Sクラス】

日産自動車株式会社  
本田技研工業株式会社

#### 【Aクラス】

三菱自動車工業株式会社  
マツダ株式会社  
ヤマハ発動機株式会社  
スズキ株式会社  
富士重工業株式会社  
いすゞ自動車株式会社  
NTN株式会社  
川崎重工業株式会社  
ダイハツ工業株式会社

#### 【Bクラス】

株式会社デンソー  
日野自動車株式会社  
サイバネット システム株式会社  
ソリッドワークス・ジャパン株式会社  
アイシン精機株式会社  
アルテアエンジニアリング株式会社  
株式会社インテリジェンス  
株式会社エフ・シー・シー  
エムエスシーソフトウェア株式会社  
カヤバ工業株式会社  
日産ディーゼル工業株式会社  
株式会社日立製作所

#### 【Cクラス】

愛知機械工業株式会社  
カルソニックカンセイ株式会社  
株式会社豊田自動織機  
トヨタ車体株式会社  
日本ナショナルインスツルメンツ株式会社  
株式会社ユタカ技研  
愛三工業株式会社  
アイシン・エイ・ダブリュ株式会社  
アイシン高丘株式会社  
トヨタ紡織株式会社  
株式会社エクセディ  
株式会社三五  
ジヤトコ株式会社  
株式会社ショーワ  
住鋳潤滑剤株式会社  
住友軽金属工業株式会社  
住友ゴム工業株式会社  
株式会社大成社  
大同メタル工業株式会社  
株式会社ダイナテック  
株式会社ダッド  
ティ・エス テック株式会社  
株式会社東京アールアンドデー  
東京濾器株式会社  
東洋ゴム工業株式会社  
東洋沪機製造株式会社  
株式会社トヨタテクノサービス  
日産車体株式会社  
日信工業株式会社  
日本特殊陶業株式会社

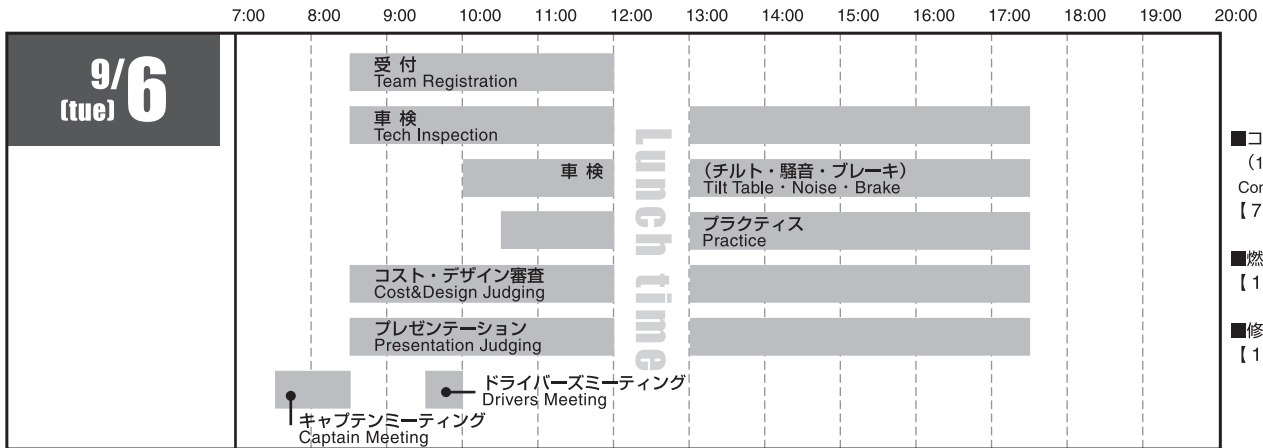
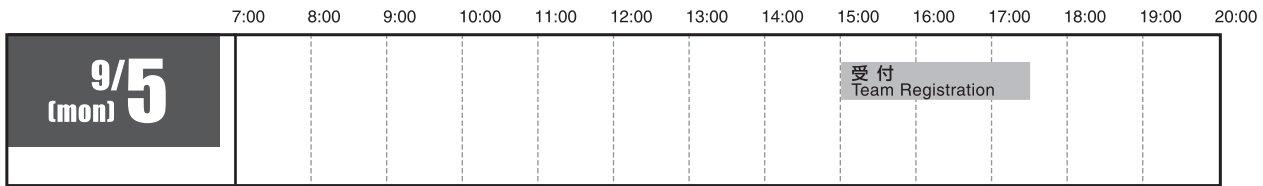
日本発条株式会社  
富士通テン株式会社  
株式会社ブリヂストン  
株式会社ムラヤマ  
株式会社山田製作所  
株式会社ユニキャット  
横浜ゴム株式会社

#### 【Dクラス】

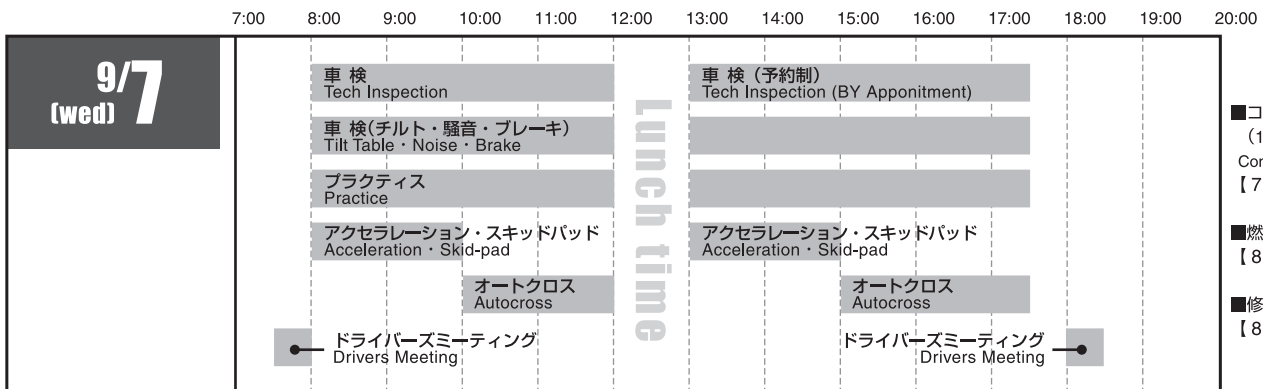
旭硝子株式会社  
アスモ株式会社  
株式会社エヌエフ回路設計ブロック  
株式会社小糸製作所  
ジェイアイ傷害火災保険株式会社  
しげる工業株式会社  
住友電装株式会社  
タイコ エレクトロニクス アンブ株式会社  
大豊工業株式会社  
TNO-Automotive ジャパン株式会社  
デンソーテクノ株式会社  
東京海上日動火災保険株式会社  
東レ株式会社  
トピー工業株式会社  
株式会社トヨタコミュニケーションシステム  
株式会社日産テクノ  
バンドー化学株式会社  
株式会社ファーベス  
株式会社松井製作所  
株式会社ミツバ  
三菱自動車エンジニアリング株式会社  
株式会社三ツ星ベルト

# 競技スケジュール (競技場所は裏表紙の会場マップ参照)

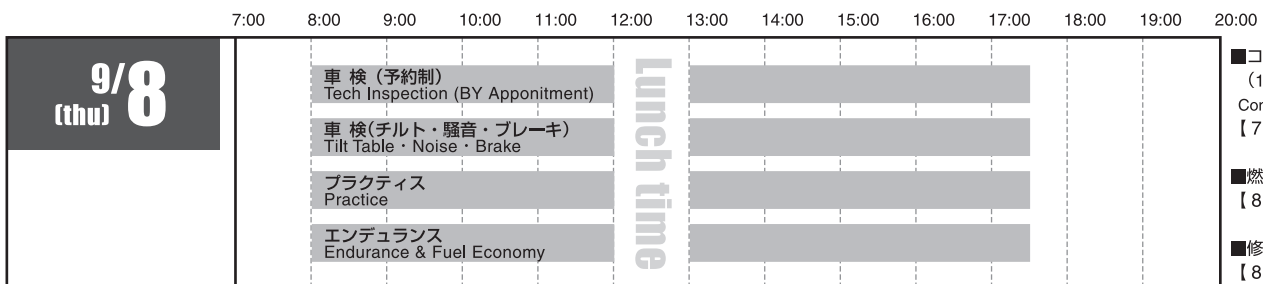
## Schedule of Competitive Events in 2005



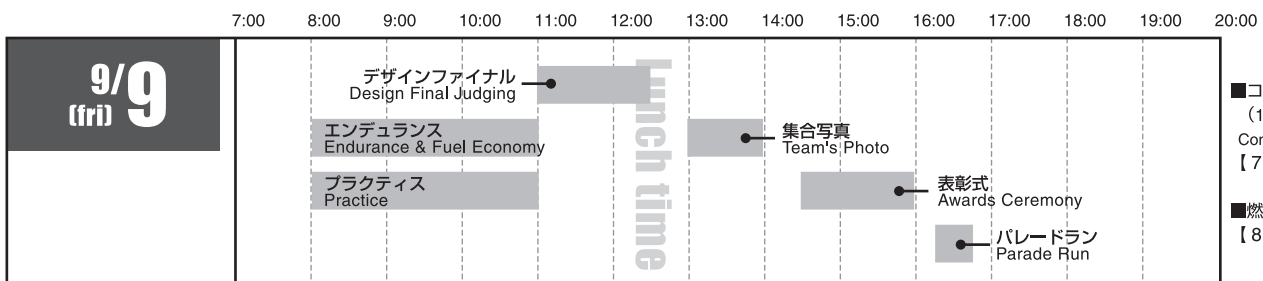
- コミュニケーションセンター (1F)  
Communication Center (1F)  
【7:30-17:30】
- 燃料給油所 Fuel Station  
【10:00-17:30】
- 修理工房 Repair Site  
【10:00-17:30】



- コミュニケーションセンター (1F)  
Communication Center (1F)  
【7:30-17:30】
- 燃料給油所 Fuel Station  
【8:00-17:30】
- 修理工房 Repair Site  
【8:30-17:30】



- コミュニケーションセンター (1F)  
Communication Center (1F)  
【7:30-17:30】
- 燃料給油所 Fuel Station  
【8:00-17:30】
- 修理工房 Repair Site  
【8:30-17:30】



- コミュニケーションセンター (1F)  
Communication Center (1F)  
【7:30-17:00】
- 燃料給油所 Fuel Station  
【8:00-11:00】



# 競技概要

## Outline of Competition

競技種目		競技概要	配点
車検		車両の安全・設計要件の適合、ブレーキ試験(4輪ロック)、騒音試験(所定の条件で排気音110dB以下)、チルトテーブル試験(車両45度傾斜で燃料漏れ無し。ドライバー乗車し車両60度傾斜で転覆しない)	—
静的競技	コスト	予算とコストは、生産活動を行うにあたって考慮しなければならない重要な要素であることを参加者に学ばせることが狙い。車両の製造コストは325万円以下。車両を見ながら事前に提出したコストレポートのコスト精度、チームによる製造度合等を確認し、レポートのコストと車両との適合を審査する。一般に購入品目となる2つの部品について、製造プロセスなどの口頭試問を行い、それらの知識・理解度を評価する。	100
	プレゼンテーション	学生のプレゼンテーション能力を評価することが狙い。プレゼンテーションは、『競技のコンセプトに沿い、開発した車両が、市場の要求に合致しているということを製造会社の役員に納得させる』という仮想のシチュエーションのもとで行う。	75
	設計	事前に提出した設計資料と車両をもとに、どのような技術を採用し、どのような工夫をしているか、またその採用した技術が市場性のある妥当なものかを評価する。具体的には、車体および構成部品の設計の適切さ、革新性、加工性、補修性、組立性などについて口頭試問する。	150
動的競技	アクセラレーション	0-75m加速。各チーム2名のドライバーがそれぞれ2回、計4回走行し、タイムを競う。	75
	スキッドパッド	8の字コースによるコーナリング性能評価。各チーム2名のドライバーがそれぞれ2回、計4回走行し、タイムを競う。	50
	※オートクロス	直線・ターン・スラロームなどによる約1000mのコースを1周走行する。各チーム2名のドライバーがそれぞれ2回、計4回走行し、タイムを競う。エンデュランスは、このオートクロスの早いチーム順に走行する。	150
	※エンデュランス	直線・ターン・スラロームを組み合わせた約1000mの周回路を、チーム2名のドライバーが11周づつ走行し、合計22週のタイムを競う。	350
	燃費	エンデュランス走行時の燃料消費で評価する。	50
合計			1000

※コースの長さは変更になる可能性があります。

### 表彰スポンサー・他

イーラス株式会社  
社団法人日本自動車工業会  
アサヒ飲料株式会社  
株式会社堀場製作所  
株式会社小野測器  
エイヴィエルジャパン株式会社  
日本SGI株式会社  
サイバネットシステム株式会社

ソリッドワークス・ジャパン株式会社  
日本ナショナルインスツルメンツ株式会社  
新日本石油株式会社  
エムエスシーソフトウェア株式会社  
東洋ゴム工業株式会社  
株式会社共和電業  
住友ゴム工業株式会社  
横浜ゴム株式会社

株式会社ブリヂストン  
住友スリーエム株式会社  
スバルCOR&D  
FISITA  
日本大学  
トヨタ自動車東富士研究所  
社団法人自動車技術会

# 大会ルールの概要

## Outline of Rules Governing Competitive Events

参加車両は、学生が構想・設計・製作したもので、2005FSAE®の規定を満たすこと。前年の大会に参加した車両のフレームは使用できない。車両の構成部品についても、安易に市販品等を用いるのではなく、できる限り学生自ら製作することをモットーとする。また、プロの技術者・研究者の情報を利用すること、設計の基礎・安全に車両を製作するための方法に関する指導・支援を受けることは許容するが、設計仕様を決定したり設計図を書いてもらうことは許容しない。

安全面については厳格で緻密なルールにしているが、学生たちの知識、独創性、構想力が大いに発揮できるように、安全要件を除いた設計上の制約は必要最小限にしている。

参加資格は、大学院、大学、短大、高専、又は短大相当の専門学校の学生が対象。なお、競技会の7ヵ月前までに卒業した者は参加資格を有する。

### 【主な設計要件】 Design Requirements

- ①タイヤがカウルで覆われてなく、コクピットがオープンなフォーミュラスタイルの車両であること。
- ②4サイクルピストンエンジンで排気量610cc以下。オリジナル設計の加給器の装着は可。  
リストラクター（吸気制限装置）の最大直径は20mm（ガソリンエンジンの場合）。
- ③ホイールベース1525mm以上。トレッドは、フロント又はリアの大きい方に対して75%以上。ホイールは8インチ以上。
- ④排気音量は、排気口から水平面45度、50cmの位置で110dB以下（所定の回転数）。

### 【主な安全要件】 Safety Requirements

- ①横転・正突・側突時にドライバーを保護するために、フロント・リアのメインフープ、フロントフープとロールオーバーバルクヘッド前方のクラッシュゾーン、サイドプロテクション、フレームメンバー等について構造・材料など詳細を規定。
- ②車両前端からメインフープ又は防火壁の間のドライバー席に車体開口部がないこと（コクピット開放部に関して定めることは除く）。
- ③ドライバー安全規則として、拘束システム（5又は6点式シートベルト）、保護用具（ヘルメット、スーツ、手袋、シューズなど）  
視認性、ヘッドレスト、ドライバー脱出5秒以内、横転限界、防火壁、消火器等について詳細を規定。
- ④ブレーキは4輪すべてに作動し、独立した2系統の液圧回路を有すること。ブレーキの踏みぬけのような事態が発生した時にそれを検知しエンジンを停止させるオーバートラベルスイッチを装備。

### 【主な競技要件】 Competition Requirements

- ①静的競技のうちコストと設計については、所定のコストレポートと設計レポートを大会の約2ヵ月前提出を義務づけ。未提出の場合は、コスト審査は-100ポイント、設計審査は0ポイントとなる。
- ②車検に合格し、車検ステッカーが貼られた車両でなければ、プラクティス走行および動的イベントに参加できない。
- ③動的競技は、一人のドライバーが二つまでの競技を運転することができる。エンデュランスと共に燃費も評価するが、これは一つの競技としてカウントする。一つの競技で4回試技する際は、二人のドライバーが2回ずつ試技する。



■総合優勝

経済産業大臣賞

Minister of Economy, Trade and Industry Award

FISITA賞

FISITA Award

■競技種目表彰

注)順位に記載の数値単位:万円

総合優秀賞 Spirit of Excellence Award 【提供:イータス】

全競技総合得点1~6位 (1位:20 2位:15 3位:10 4位:7 5位:5 6位:3)

静的優秀賞 Spirit of Static Event Award 【提供:小野測器】

静的競技総合得点1~6位 (1位:9 2位:7 3位:5 4位:4 5位:3 6位:2)

コスト賞 Cost Award 【提供:共和電業】

コスト・製造審査の1~3位 (1位:5 2位:3 3位:2)

プレゼンテーション賞 Presentation Award 【提供:東洋ゴム】

プレゼンテーションの1~3位 (1位:5 2位:3 3位:2)

デザイン賞 Design Award 【提供:サイバネットシステム】

設計審査の1~3位 (1位:10 2位:6 3位:4)

加速性能賞 Acceleration Award 【提供:住友ゴム】

加速性能の1~3位 (1位:5 2位:3 3位:2)

スキッドパッド賞 Skid-Pad Award 【提供:横浜ゴム】

スキッドパッドの1~3位 (1位:5 2位:3 3位:2)

オートクロス賞 Autocross Award 【提供:ブリヂストン】

オートクロスの1~3位 (1位:5 2位:3 3位:2)

省エネ賞 Fuel Economy Award 【提供:小野測器】

燃費の1~3位 (1位:5 2位:3 3位:2)

耐久走行賞 Endurance Award 【提供:ソリッドワークス・ジャパン】

耐久走行の1~3位 (1位:10 2位:6 3位:4)

日本自動車工業会 会長賞(環境・安全・教育特別賞) JAMA Chairman Award 【提供:日本自動車工業会】

設計安全、衝突安全、軽量化努力、燃費、騒音、スポーツマンシップ等の評点をもとに総合得点  
1~6位 (1位:20 2位:15 3位:10 4位:7 5位:5 6位:3)

ルーキー賞 Rookie Award 【提供:日本ナショナルインスツルメンツ】

国内外FSAE大会初参加チームの全競技総合得点1~3位 (1位:10 2位:6 3位:4)

CAE特別賞 CAE Award 【提供:エムエスシーソフトウェア】

CAE技術を効果的に活用している1~3位 (1位:5 2位:3 3位:2)

ユニークデザイン特別賞 Unique Design Award 【提供:住友スリーエム】

設計において工夫・苦心している1~3位 (1位:5 2位:3 3位:2)

安全設計特別賞 Safety Design Award 【提供:スバルコR&D】

独自の安全設計を採用している最優秀チーム (レーシングスーツ)

スポーツマンシップ賞 Sportsmanship Award 【提供:自動車技術会】

最もスポーツマンシップの評価が高いチーム (1位:5)

- 【備品等提供スポンサー】
- パステース:堀場製作所
  - ドリンク:アサヒ飲料
  - Tシャツ(スタッフ用):  
エイヴィエルジャパン、日本SGI
  - ガソリン:新日本石油
  - 重量計:ブリヂストン
  - 騒音計測器:小野測器
  - 燃料計測器:日本大学
  - 溶接機器等:  
トヨタ自動車東富士研究所



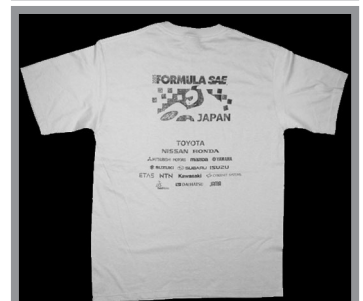
堀場製作所提供



エイヴィエルジャパン提供



日本SGI提供



バックプリント共通

特典:総合成績1位~3位の車両を第39回 東京モーターショーに展示  
2005年10月21日(金)~11月6日(日)

本特典の対象は国内チームのみとなります。

# 参加チーム【車両スペック】

## Participating Teams (Vehicle Specifications)

No	学校名 School Name	Body-Color(s)	Frame	Body-work	Suspension ( Front & Rear )	Overall Length Overall Height Wheelbase Front Track Rear Track	Gross Vehicle Mass Fr:Rr Weight Dist. Ground Clearance	Wheels & Tires
1	神奈川工科大学 Kanagawa Institute of Technology	white & blue	Steal spaceframe	Fiber-glass	Front & Rear : Double unequal length A-arm Push rod	2570 mm 1142 mm 1620 mm 1206 mm 1196 mm	227 kg 48:52 55 mm	13inch RS.WATANABE
2	国土舘大学 Kokushikan University	black & white	Spaceframe	G-FRP	Front & Rear : Double unequal length A-arm Pull rod	2820mm 1128mm 1650mm 1200mm 1200mm	239 kg 48:52 50 mm	Panasport Racing Formula One/FS Hoosier 20×6.0-13 R25A
3	芝浦工業大学 Shibaura Institute of Technology	black	STKM11A & STKM13A spaceframe	FRP	Front & Rear : Double unequal length A-arm Pull rod	2650mm 1035mm 1550mm 1100mm 1100mm	245kg 49:51 50mm	10inch Epsilon special 18.0×6.0-10 R25A Hoosier
4	宇都宮大学 Utsunomiya University	green metallic	Steal spaceframe	Fiber-glass	Front & Rear : Double unequal length A-arm Pull rod	2750 mm 1060 mm 1700 mm 1200 mm 1186 mm	220 kg 48:52 60 mm	13inch ENKEI 180/510-13 BRIDGESTONE
5	金沢工業大学 Kanazawa Institute of Technology	red	Steal spaceframe	glassfiber reinforced plastic	Front & Rear : aluminum alloy A-arm Pull rod	2669 mm 1002 mm 1720 mm 1240 mm 1240 mm	235 kg 45:55 50 mm	13inch Aluminum RAYS TE37 5.0J offset+35 Hoosier R25A
6	上智大学 Sophia University	red	Steal spaceframe	Carbon-Fiber	Front : Double unequal length A-arm Pull rod Rear : Double unequal length A-arm Push rod	2287mm 1138mm 1600mm 1250mm 1200mm	224kg 49:51 38mm	13inch Keizer  180/510-13 Bridgestone
7	金沢大学 Kanazawa University	blue	Steal spaceframe	Fiber-glass	Front & Rear : Double unequal length A-arm Pull rod	2700 mm 1100 mm 1600 mm 1150 mm 1150 mm	220 kg 46:54 50 mm	13inch RAYS TE37 160/515-13 YOKOHAMA Bias
8	武蔵工業大学 Musashi Institute of Technology	blue	Steal spaceframe	GFRP	Front & Rear : Double unequal length A-arm Pull rod	2690mm 1013mm 1550mm 1100mm 1100mm	170kg 50:50 67.3mm	10inch RS Watanabe Mag EIGHT SPOKE Hoosier ROAD RACING 18.0×6.0-10 R25A
9	日本大学理工学部 College of Science and Technology, Nihon University	tricolor	Steal spaceframe	G-FRP	Front & Rear : Double unequal length A-arm Pull rod	2750 mm 1140 mm 1650 mm 1150 mm 1150 mm	230 kg 40:60 60 mm	13 inches 6.0J RAYS 180/60-13 Bridgestone
10	名古屋工業大学 Nagoya Institute of Technology	blue	Steal spaceframe	FRP	Front & Rear : Unequal length double a-arm with pull-rod actuation	2610 mm 1405 mm 1600 mm 1200 mm 1200 mm	165.9 kg 50:50 35mm	10inch DOUGLUS ATV YAMAHA 4/156-10 Hoosier
11	名古屋大学 Nagoya University	pure white, red & green	Tubular space frame	FRP	Front & Rear : Double unequal length none parallel A-arm Pull rod	3260 mm 1020 mm 1600 mm 1200 mm 1200 mm	231 kg 45:55 30 mm	RAYS TE37 13×6.0 Hoosier 20.0×6.0-13

車両スペックは、2005年6月に提出されたものであり、大会車両と異なるケースもあります。



Engine Displacement max. power max. torque	Induction type Fuel tank Volume	Shifter	Final Drive & Differential	Brakes	Unique Features & Notes
PC35EHONDA CBR600F4i 599cc 68ps/9300rpm 5.0kgf/8800rpm	Naturally Aspirated 6.0L	Manual	Shaft & LSD	Front:2 outboard Rear:2 outboard Brembo calipers	3 division structures by shaft drive, Start off system
PC37E CBR600RR 599cc 75ps/11000rpm 53N·m/8000rpm	Naturally Aspirated 6.5L	6speed Sequential	Chain drive, Torsen diff	Front:2 outboard Rear:2 outboard Tokico calipers	
PC37E HONDA CBR600RR 599cc 69ps/11500rpm 5.2kgf/7500rpm	Naturally Aspirated 6L	Manual	Chain Cusco special	Front:2 outboard Rear:1 inboard Nissin calipers	Brake system
HONDA CBR600F4i 600cc 65ps/11000rpm 5.3kgf/8000rpm	Naturally Aspirated 6.8L	Electric actuated shifter	DID ER Chane & F.C.C LSD	Front:2 outboard Rear:1 inboard Nissin calipers	Original stealing gear box
PC35EHONDA CBR600F4i 599cc 51kw/10,500rpm 52N·m/7,500rpm	Naturally Aspirated 8.0L	Manual	Chain Drive	Front:2 outboard Rear:2 outboard Nissin calipers	
5SL1 4cyl. YAMAHA YZF-R6 599.7cc 62.8kw/12500rpm 56Nm/9500rpm	Naturally Aspirated 7.0L	Manual	Chain Drive Mechanical LSD	Front:2 outboard Rear:1 inboard Nissin calipers	Engine Dry Sump
2004 YAMAHA YZF-R6 600cc 71ps/10500rpm 5.5kgf/7000rpm	Naturally Aspirated 7.0L	Manual	Chain, Mechanical LSD	Front:2 outboard Rear:1 inboard Nissin calipers	custom oil pan
PE06E HONDA CRF450X 449cc 55.7PS/9000rpm 5.12kgf/6500rpm	Naturally Aspirated 2.7L	Manual Paddle shift	ChainTorsen	Front:2 outboard Rear:2 outboard brembo calipers	Light weight vehicle
PC35EHONDA CBR600F4i 600cc 71.5ps/11000rpm 5.49kgf/7500rpm	Naturally Aspirated 4.5L	Manual	LSD torsen type	Front:2 outboard Rear:1 inboard Beringer calipers	Side Fin Mg-uplight
J321E YAMAHA WR450 449cc 34.6ps/9000rpm 3.1kgf/7500rpm	Naturally Aspirated 4.5L	Manual	Chain Mitsubishi LSD	Front:2 outboard Rear:1 inboard Nissin calipers	single EFI engine paddle shift Aluminum Honeycomb Light Weight
PC37E HONDA CBR600RR 599cc 80ps/10000rpm 6.0kgf/8000rpm	Naturally Aspirated 6.5L	Manual	Chain Torque sensing LSD	Front:2 outboard Rear:1 inboard	Air suspension Frame box structure

# 参加チーム【車両スペック】

## Participating Teams (Vehicle Specifications)

No	学校名 School Name	Body-Color(s)	Frame	Body-work	Suspension ( Front & Rear )	Overall Length Overall Height Wheelbase Front Track Rear Track	Gross Vehicle Mass Fr:Rr Weight Dist. Ground Clearance	Wheels & Tires
12	Yeungnam University	no data	no data	no data	no data	no data	no data	no data
13	慶應義塾大学 Keio University	white	Steal spaceframe	Fiber-glass	Front & Rear : Double unequal length A-arm Pull rod	2700 mm 1060 mm 1650 mm 1200 mm 1200 mm	220 kg 45:55 50mm	13inch RAYS VOLK RACING 180/510-13 BRIDGESTONE Bias Slick
14	名城大学 Meijo University	black & blue	Steal spaceframe	Fiber Reinforced Plastic	Front & Rear : Double unequal length A-arm Push rod	2252mm 1025mm 1600mm 1200mm 1200mm	153 kg 47.3:52.7 40mm	10inch RS Watanabe Hoosier 18.0×6.0-10
15	近畿大学理工学部 Kinki University	black	Steal spaceframe	FRP	Front : Double unequal length A-arm Pull rod Rear : Double unequal length A-arm Push rod	2670mm 1025mm 1640mm 1240mm 1258mm	230kg 45:55 47.5mm	13inch RAYS TE37 F: 20×6-13 R: 20×7-13 R25A Hoosier
16	東京大学 The University of Tokyo	blue	Steal spaceframe	Fiber-glass	Front & Rear : Double unequal length A-arm Pull rod	2350 mm 985 mm 1650 mm 1240 mm 1240 mm	232 kg 47:53 60 mm	13inch Watanabe Mg Wheel 20.0×6.0 - 13 Hoosier
17	静岡大学 Shizuoka University	orange & black	Steal spaceframe	Fiber-glass	Front : Double unequal length A-arm Push rod Rear : Double unequal length A-arm Pull rod	2350mm 1100mm 1600 mm 1165 mm 1200 mm	230 kg 45:55 50 mm	13inch SSR Formula Kei 20.0 ~6.0-13 Hoosier Bias R25A
18	明星大学 Meisei University	scarlet	aluminum honeycomb monocoque with steel rear frame	Fiber-glass	Front : Double unequal length A-arm Push rod Rear : Double unequal length A-arm Pull rod	2930mm 1015mm 1750 mm 1300 mm 1300 mm	250 kg 40:60 70 mm	13inch RAYS TE37 185/60R13 YOKOHAMA ADVAN A048
19	工学院大学 Kogakuin University	blue	Steal spaceframe	G-FRP	Front & Rear : Double unequal length A-arm Push rod	2686 mm 1220 mm 1650 mm 1180 mm 1200 mm	290 kg 42:58 40 mm	13inch YFC 175/60R13 ADVAN A048
20	京都大学 Kyoto University	dark blue	aluminum spaceframe	CFRP	Front & Rear : Double unequal length A-arm Pull rod	3160 mm 980 mm 1720 mm 1200 mm 1240 mm	220 kg 40:60 40 mm	13inch RAYS 160/55-13 ADVAN Slick
21	大阪大学 Osaka University	lime green	Steal spaceframe	GFRP	Front & Rear : Double unequal length A-arm Pull rod	2420 mm 1210 mm 1700 mm 1200 mm 1170 mm	260 kg 50:50 50 mm	13inch RAYS 175-60/R13 TOYO
22	日本大学生産工学部 College of Industrial Technology, Nihon University	bule & white & yellow	Steal spaceframe	Fiber-glass	Front & Rear : Double unequal length A-arm Push rod	2850 mm 1178 mm 1650 mm 1167 mm 1100 mm	230 kg 45:55 50 mm	13inch 160/55

車両スペックは、2005年6月に提出されたものであり、大会車両と異なるケースもあります。

Engine Displacement max. power max. torque	Induction type Fuel tank Volume	Shifter	Final Drive & Differential	Brakes	Unique Features & Notes
no data	no data	no data	no data	no data	no data
PC35EHONDA CBR600F4i 599cc 47ps/9000rpm 4.0kgf/7000rpm	Naturally Aspirated 7.0L	Manual	Chain Mechanical LSD	Front:2 outboard Rear:2 outboard Nissin calipers	Pedal adjustment
J306E YAMAHA WR450F 450cc 60ps/9000rpm 5.4kgf/6500rpm	Naturally Aspirated 3.852L	Manual	Chain & Limited Slip Differential	Front:2 outboard Rear:1inboard	Support & Protection
EX500Kawasaki GPZ500s 498cc 49.7ps/8000rpm 4.9kgf/5500rpm	Naturally Aspirated 5.9L	Manual	Chain LSD	Front:2 outboard Rear:1 inboard Wilwood calipers	
P506SUZUKI Skywave650 596cc 65ps/8000rpm 6.0kgf/7000rpm	Naturally Aspirated 4.0L	CVT	Chain Viscous LSD	Front:2 outboard Rear:2 outboard Tokico calipers	Electronically controlled CVT Side Mounted Engine
GSX-R600K4 SUZUKI 600cc 120ps/13000rpm 7.1kgf/10800rpm (No Restrictor)	Naturally Aspirated 5.5L	Manual	Shaft FCC TRACK	Front:2 outboard Rear:2 outboard Nissin calipers	Side mount engine
PC37E HONDA CBR600RR 599cc 69ps/11500rpm 5.20kgf/7500rpm	Naturally Aspirated 9.0L	Manual	Chain Torsen	Front:2 outboard Rear:2 outboard Brembo calipers	aluminum honeycomb monocoque
PC37E HONDA CBR600RR 599cc 69ps/11500rpm 5.2kgf/7500rpm	Naturally Aspirated 7.8L	Manual	Chain open	Front:2 outboard SUZUKI calipers Rear:1 inboard TOKICO calipers	Cool design under panel simply driving
YAMAHA YZF-R6 600cc 85ps/11000rpm 5kgf/9000rpm	Naturally Aspirated 5.6L	Manual	ChainTorsen	Front:2 outboard Rear:1 inboard TILTON calipers	
KVF-650 609cc 43.8ps/6500rpm 5.4kgfm/5000rpm	Naturally Aspirated 7.5L	CVT	Shaft Torsen	Front:2 outboard Rear:2 outboard	V2 Engine CVT
PC35EHONDA CBR600F4i 600cc 72ps/12000rpm 5.0kgf/10000rpm	Naturally Aspirated 7.0L	Manual	ShaftL.S.D.	Front:2 outboard Rear:1 inboard Nissin calipers	Aluminum Upright



# 参加チーム【車両スペック】

## Participating Teams (Vehicle Specifications)

No	学校名 School Name	Body-Color(s)	Frame	Body-work	Suspension ( Front & Rear )	Overall Length Overall Height Wheelbase Front Track Rear Track	Gross Vehicle Mass Fr:Rr Weight Dist. Ground Clearance	Wheels & Tires
23	大同工業大学 Daido Institute of Technology	ocean blue & white	Steal spaceframe	Fiber-glass (FRP)	Front & Rear : Double unequal length oval A-arm Push rod	2700 mm 1000 mm 1600 mm 1200 mm 1250 mm	165 kg 45:55 70 mm	10inch YAMAHA ATV 18.0 x 7.5-10 Hoosier FSAE SLICK 13inch RAYS VOLK TE37 20.0 x 7.0-13 Hoosier FSAE SLICK
24	同志社大学 Doshisha University	black	Steal spaceframe	Fiber-bamboo	Front : Double unequal length A-arm Pull rod Rear : Double unequal length A-arm Push rod	2500mm 1300mm 1530mm 1250mm 1250mm	220 kg 45:55 70 mm	13inch ENKEI aluminum DUNLOP
25	東海大学 Tokai University	black & red	Steal spaceframe	CFRP	Front & Rear : Double unequal length A-arm Pull rod	2750mm 1065mm 1700mm 1250 mm 1250 mm	220kg 46 :54 44 mm	13inch RAYS TE37 160/515-13 Y801 Yokohama
26	福井工業大学 Fukui University of Technology	blue	STPG-370 JIS-G3454 steal spaceframe	Fiber-glass Paperclay	Front & Rear : Double unequal length A-arm Pull rod	3000mm 1800mm 1700mm 1010 mm 1010 mm	250kg 35:65 60 mm	13inch RAYS TE37 175/60R13 Bridgestone
27	神戸大学 Kobe University	white & blue	Steal spaceframe	Fiber-glass	Front & Rear : Double unequal length A-arm Push rod	3200 mm 1250 mm 1700 mm 1200 mm 1200 mm	220 kg 50:50 50 mm	13inch Aluminum Wheel 150/530-13 DUNLOP Bias
28	東京電機大学 Tokyo Denki University	blue	Steal spaceframe	carbon fiber	Front & Rear : Double unequal length A-arm Push rod	2482 mm 1260 mm 1525 mm 1120 mm 1100 mm	190 kg 48:52 45 mm	13inch keizer wheel 20 x 6-13 hoosier racing tire
29	立命館大学 Ritsumeikan University	red & white	Steal spaceframe	Fiber-glass	Front & Rear : Double unequal length A-Arm. Push rod actuated spring and damper.	2700 mm 1210 mm 1600 mm 1206 mm 1206 mm	232 kg 50:50 50 mm	13inch, 6inch wide 1pc Al forged, +32 mm offset RAYS TE37 20x7.0-13 R25A Hoosier
30	東京農工大学 Tokyo University of Agriculture Technology	white & blue	Steal spaceframe	Fiber-glass	Front & Rear : Double equal length A-Arm. Push rod	3066mm 1075mm 1600mm 1200mm 1200mm	260kg 50:50 50mm	6 inch wide, 1 pc Al Rim, 25 mm offset 160/530R13 radial Bridgestone
31	University of Ulsan	blue & white	Steal spaceframe	Fiber-glass	Front & Rear : Double unequal length A-arm Push rod	2850 mm 1050 mm 1700 mm 1350 mm 1300 mm	250 kg 45:60 50 mm	13inch Keizer 3pc 20x7.0-13 R25A Hoosier
32	横浜国立大学 Yokohama National University	wine red	Steal spaceframe	Honey Comb	Front : Double unequal length A-arm Pull rod Rear : H-arm and Camber link	2300 mm 1150 mm 1525 mm 1100 mm 1110 mm	240 kg 40:60 50 mm	10inch 130/450-10 DUNLOP Bias
33	近畿大学工学部 Kinki University School of Engineering	white & dark blue	Steal spaceframe	FRP	Front & Rear : Double unequal length A-arm. Direct acting spring and damper	2785 mm 1135 mm 1650 mm 1250 mm 1250 mm	320 kg 45:55 50 mm	13inch Wheel 150/530-13 DUNLOP racing slicks Tires

車両スペックは、2005年6月に提出されたものであり、大会車両と異なるケースもあります。

	Engine Displacement max. power max. torque	Induction type Fuel tank Volume	Shifter	Final Drive & Differential	Brakes	Unique Features & Notes
	5TJ9 YAMAHA WR-450F 450cc 60ps/9000rpm 5.4kgf/6500rpm	Naturally Aspirated 4.3L	Manual	Chain Helical	Front:2 outboard Rear:1 inboard Nissin calipers	Direct air funnel intake system
	Kawasaki ZX-6RR 599cc 50ps/12000rpm 2kgf/6000rpm	Naturally Aspirated 3.5L	Manual	Sprocket & Chain 2003original differential	Front:2 outboard Rear:2 outboard TOKICO calipers	banboo-cowl
	P507 SUZUKI SV650-B.D. 606cc 67ps/8000rpm 6.5kgf/6900rpm	Naturally Aspirated 5L	Manual	Chain Helical LSD	Front:2 outboard Rear:1 inboard	Tuning V2 Engine
	PC37E HONDA CBR600RR 599cc 69ps/11500rpm 5.2kgf/7500rpm	Naturally Aspirated 5L	Manual	ShaftTorsen	Front:2 outboard Rear:2 outboard	
	ZX600-K1 KAWASAKI ZX6RR 599cc 75ps/10000rpm 4.8kgf/7000rpm	Naturally Aspirated 5.5L	Manual	Chain Drive Mechanical LSD	Front:2 outboard Rear:2 outboard TOKICO calipers	Paddle Shift
	CRF450X 500cc 55ps/8000rpm 5.62kgf/5100rpm	Naturally Aspirated 5.8L	Manual	ShaftTorsen	Front:2 outboard Rear:1 inboard wilwood calipers	Single Cylinder Engine
	ZX600KE 599cc 50kw/11000rpm 50N · m/9000rpm	Naturally Aspirated 7.0L	Manual	Chain Multiple disc clutch	Front:2 outboard Rear:1 inboard 44,5 mm diameter. Dual piston. WILWOOD.	
	HONDA BC-PC37E 599cc 69ps/11500rpm 5.2kgf/7500rpm	Naturally Aspirated 8.6L	Manual	Chain mechanical LSD	Front:2 outboard Rear:1 inboard Nissin calipers	
	EHONDA CBR600 F4sports 599cc 84.8ps/12114rpm 5.7kgf/10368rpm (It is normal condition. We didn't complet the engine work. We prepare the turbocharged engine )	Forced induction by turbo-charger 10L	Manual	ShaftTorsen	Front:2 outboard Rear:1 inboard Nissin calipers	Variable Intake System
	PC37EHONDA CBR600RR 600cc 69ps/11500rpm 5.2kgf/7500rpm	Naturally Aspirated 5.0L	Manual	LSD	Front:2 outboard Rear:2 outboard Nissin calipers	Hand Shifter, Hand Clutch
	EX500-D1 Kawasaki GPZ500S 498cc 60ps/9800rpm 4.7kgf/8500rpm	Naturally Aspirated 6L	Manual	Chain Daihatsu LSD	Front:2 outboard disk brakes Rear:2 outboard disk brakes Daihatsu calipers	Equal length Intake System, Pedals & Steering Wheel Adjustment System

# 参加チーム【車両スペック】

## Participating Teams (Vehicle Specifications)

No	学校名 School Name	Body-Color(s)	Frame	Body-work	Suspension ( Front & Rear )	Overall Length Overall Height Wheelbase Front Track Rear Track	Gross Vehicle Mass Fr:Rr Weight Dist. Ground Clearance	Wheels & Tires
34	東京理科大学 Tokyo University of Science	black & pink	Steal spaceframe	CFRP	Front & Rear : Double unequal length A-arm Pull rod	2637 mm 1228 mm 1600 mm 1250 mm 1200mm	250 kg 48:52 40 mm	13inch RS-WATANABE EIGHTSPOKE 160/55 YOKOHAMA Radial
35	高知工科大学 Kochi University of Technology	white	Steal spaceframe	FRP	Front & Rear : Double equal length A-arm Pull rod	2600mm 1060mm 1600mm 1300mm 1300mm	250kg 50:50 60mm	13inch RAYS VOLK 175/60R13 YOKOHAMA ADVAN
36	Gyeongdo Provincial College	no data	no data	no data	no data	no data	no data	no data
37	九州工業大学 Kyushu Institute of Technology	red	Steal spaceframe	FRP	Front : Double unequal length A-arm Pull rod Rear : Double unequal length A-arm Push rod	2800 mm 1270 mm 1900 mm 1220 mm 1220 mm	327kg 55:45 60 mm	13inch RAYS VOLKRACING 175/60R13 ADVAN A048
38	千葉大学 Chiba University	blue	Steal spaceframe	Fiber-glass	Front & Rear : Double unequal length A-arm Push rod	2780 mm 1203.5 mm 1700 mm 1214 mm 1207 mm	330 kg 40:60 53.5 mm	13inch RAYS TE37 180/510-13 BRIDGESTONE Bias
39	岡山大学 Okayama University	navy blue	Steal spaceframe	Fiber-glass	Front : Double unequal length A-arm Pull rod Rear : Double unequal length A-arm Push rod	2700 mm 1100 mm 1700 mm 1200 mm 1200 mm	350kg 50:50 50 mm	13inch WATANABE CV 165/60-13 DUNLOP DEREZZA 02G
40	茨城大学 Ibaraki University	white	Steal spaceframe	Aluminum	Front & Rear : Double unequal length A-arm out boad	2800mm 1220mm 1685mm 1300mm 1300mm	350kg 40:60 60mm	13inch WATANABE 180/510-13 Bridgstone Bias
41	信州大学 Shinshu University	black	Steal spaceframe	CF/ GFRP	Front & Rear : Double unequal length A-arm Push rod	2550 mm 1100 mm 1530 mm 1190 mm 1200 mm	250 kg 40:60 50 mm	13inch 160/530-13 YOKOHAMA ADVAN A005
42	ホンダインターナショナル テクニカルスクール Honda International Technical School	Championship white & red	Steal spaceframe	FRP	Front : Double unequal length, non parallel Uplight Push rod Rear : Double unequal length, non parallel A-arm Push rod	2550mm 1000mm 1685mm 1200mm 1180mm	175kg 40:60 40mm	10inch RSWATANABE 8Spoke-Mg 18.0×6.0-10 Hoosier R25A
43	東北支部大学連合 United Universities of TOHOKU	undecided	Steal spaceframe	FRP	Front : Double A-arm Pull rod Rear : Double A-arm Push rod	2600 mm 1150 mm 1600 mm 1350 mm 1350 mm	220 kg 50:50 50mm	13inch maker:unknown tire:undecided
44	東京工業大学 Tokyo Institute of Technology	blue	Steal spaceframe	Fiber- glass & Al plate	Front & Rear : Double unequal length A-arm Push rod	3008 mm 1136 mm 1950 mm 1450 mm 1400 mm	240 kg 40:60 40 mm	13inch slick Watanabe
45	早稲田大学 Waseda University	yellow & red	Steal spaceframe	FRP	Front : Double unequal length A-arm Pull rod Rear : Double unequal length A-arm Push rod	2835 mm 1260 mm 1720 mm 1280 mm 1280 mm	300 kg 45:55 70 mm	13inch ADVAN A005 160/55VR13



Engine Displacement max. power max. torque	Induction type Fuel tank Volume	Shifter	Final Drive & Differential	Brakes	Unique Features & Notes
PC37EHONDA CBR600RR 599cc 69ps/11500rpm 5.2kgf/7500rpm	Naturally Aspirated 7.0L	Manual	Chain LSD	Front:2 outboard Rear:1 inboard Tokico & Nissin calipers	
GSX-R600K2 600cc 115ps/13000rpm 6.9kgf/10800rpm	Naturally Aspirated 7.5L	6-Speed Manual	Chain LSD	Front:2 outboard Rear:2 outboard	Simple frame +powerful engine
no data	no data	no data	no data	no data	no data
PC35EHONDA CBR600F4i 600cc 75ps/11500rpm 5.4kgf/7000rpm	Naturally Aspirated 5.5L	Manual	Chain drive Quaife diff	Front:2 outboard Rear:2 outboard	Bucket Seat
PC37E HONDA CBR600RR 599cc 55ps/10000rpm 5.4kgf/7000rpm	Naturally Aspirated 7.0L	Manual	Chain & Torsen	Front:2 outboard Rear:2 outboard	Designed Cowl
YAMAHA FZ400 399cc 53ps/11500rpm 3.8kgf/9500rpm	Naturally Aspirated 6.0L	Manual	Chane SUZUKI LSD	Front:2 outboard Rear:2 outboard Willwood calipers	400cc Engine
PC37E 599cc 69ps/11500rpm 5.2kgf/7500rpm	Naturally Aspirated 4L	Manual	Chain & ATS carbon clutch LSD	Front:2 outboard Rear:2 outboard	Aluminum Bodywork
PC37EHONDA CBR600RR 599cc 69ps/11500rpm 5.2kgf/7500rpm	Naturally Aspirated 7.0L	Manual	Chain Drive	Front:2 outboard Rear:1 inboard Nissin calipers	
HONDA CRF450X 450cc 56.4ps/9000rpm 3.8kgm/7930rpm	Naturally Aspirated 3L	Semi Automatic	ShaftTorsen	Front:2 outboard HITS calipers Rear:1inboard Nissin calipers	Cowl Design
PC37EHONDA CBR600RR	Naturally Aspirated 3L	Manual	Chain Drive	undecided	
PC37E HONDA CBR600RR 600cc	Naturally Aspirated 7.5L	Manual	Shaft Mechanical	Front:2 outboard Rear:2 outboard Sumitomo calipers	Back to flont engine High downforce
'05 HONDA CBR600RR 599cc 64ps/9600rpm 4.0kgf/9000rpm	Naturally Aspirated 7L	6-spd Sequential Manual	ratio : 3.5	Front:2 outboard Rear:2 outboard brembo calipers	

# チームメンバーとスポンサー

## Team Members and Sponsors

### 1 神奈川工科大学

Kanagawa Institute of Technology

#### ■メンバー

(CP)宮崎達也, 櫻井諒, 角本優, 新井将之, 井上慎太朗, 遠藤航, 金井宗太郎, 野末剛史, 松本健太, 水野谷康博, 八重樫龍一, 山本海平, 江夏康仁, 大山秀幸, 小関徹弥, 西村侑亮, 森下倫太郎, 福田上, 荒磯学, 小菅陽平, (FA)加藤俊二



#### ■車の特徴とチームの抱負

初代車両「K-001」から引き継ぐ、エンジン縦置き、シャフト駆動を採用。前年度車両「K-004」から大幅な軽量化と低重心化を実現。今年の抱負は去年成し遂げることの出来なかった大会優勝です。

#### ■スポンサー

AVANT-GARDE SPORT, (C)NUTEC-JAPAN.,LTD, GARAGE Horino, SPARCO R&D, エムエスシーソフトウェア, 大井松田カートランド, かつま鋼管, 神奈川工科大学, インテグラル, 協和興材, ジーエティー, ダイナテック, 寶角ギヤー, ヨシムラジャパン, レーシングサービスワタナベ, 川崎重工, 相模湖ピクニックランド, 新星機工, 日本軽金属, 本田技研工業, ビックライダー, 横浜ゴム (五十音順)

### 2 国土館大学

Kokushikan University

#### ■メンバー

(CP)上田岳史, 加藤鍊平, 横澤克則, 小笠原輝, 高橋伴夫, 浅井義幸, 松本錦史朗, 相澤彰, 金子博貴, 栗原将紘, 小宮山剛, 佐竹真輔, 清水祐矢, 高石慎, 川村敦, 小田博之, 加藤正祥, 荻原隼人, 伊東寿仁, 齋藤讓, (FA)児玉知明



#### ■車の特徴とチームの抱負

加速、減速、旋回を高い次元で融合したことで、レーシングカーとして素晴らしい運動性能を手にすることができました。今年こそこの車両で表彰台の中央に上ります。

#### ■スポンサー

エムエスシーソフトウェア, エムズ・ファクトリー, 小笠原プレジジョンラボラトリー, GOODRIGE(JAPAN)LTD., シティカート, ストリートライフ, ソリッドワークス・ジャパン, 竹内化成, デイトナ, ティラド, 電通国際情報サービス, 東洋エレメント工業, 日産自動車, 日発精密工業, ノバエンジニアリング, BMB技術研究, 日立製作所, フルーエント・アジアパシフィック, 本田技研工業, 柳下技研, やまと興業, 和光ケミカル

### 3 芝浦工業大学

Shibaura Institute of Technology

#### ■メンバー

(CP)佐竹喜弘, 福田達史, 梶原詠介, 上田哲也, 福島知樹, 岩田季恵, 伊藤憲悟, 植村卓範, 山田健太郎, 那須洋介, 有吉伴弘, 五嶋賢太郎, 谷山隼, 寺田亮介, 市川哲也, 佐藤公彦, 奥山哲也, 今井謙太郎, 高橋寛彰, 佛淵裕基, 土田真也, 山口純, (FA)岡村宏



#### ■車の特徴とチームの抱負

今年の車両S002は「正常進化」をコンセプトとして昨年の「人車一体」を継承し、低重心化・軽量化に重点を置き開発しました。車両のポテンシャルを最大限に引き出して、優勝を目指します。

#### ■スポンサー

アールケー・エキセル, ウメオカ, エスピーエアー, NTN, エヌテック, エプシロンジャパン, エムエスシーソフトウェア, 桶川スポーツランド, キャロッセ, ケアール工業, ケーヒン, 高速電機, 小林機構, サイデン, 三立化工機, 芝浦工業大学後援会, ショーワ, 末吉工業, ソフトウェアクレイドル, ツインリンクもてぎ, 東京R&D, 東京チタニウム, 特殊技研, 所沢軽合金, 日産ディーゼル工業, 日新鋼管, 日信工業, 日東精工, 日本軽金属, 日本ケーブル・システム, フィアロコーポレーション, プリテック, ホツカイエムアイシー, 堀場製作所, 本田技研工業, ミツバ, 三菱ふそうトラック・バス, 柳下技研, 山下ゴム, 山田製作所, 横河工事, リョービ, 和光ケミカル, ライコランド

### 4 宇都宮大学

Utsunomiya University

#### ■メンバー

(CP)伊藤淳, 尾上雄介, 加藤真吾, 中村崇, 田中達也, 泉谷一, 奥崎左野佳, 小口直洋, 佐々木陽一, 荒川敦, 今井太一, 大島剛夫, 大和田哲也, 小高慎一郎, 上地優, 君島充朗, 坂本雄一, 多田直人, 松井章浩, 松橋洋介, 大岡周平, 佐藤研斗, 橋本拓実, 村上浩康, 遠藤亮, (FA)杉山均



#### ■車の特徴とチームの抱負

今年の車両、UF-03は大幅な軽量化と低重心化を達成しました。レースカーとしての基本を迫及したこの車両で優勝を目指します。

#### ■スポンサー

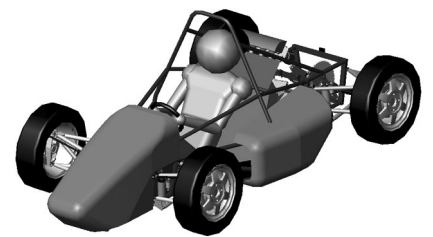
浅野, インフェック, 白井国際産業, エンケイ, エフシーシー, 岡モーターズ, オートデスク, コヤマガレージ, カルソニックカンセイ, グッドリッチジャパンリミテッド, サイバネットシステム, ショーワ, 武蔵野スリーポンド, ソリッドワークス・ジャパン, 大同工業, ツインリンクもてぎ, TSRもてぎ, 東興ラチェーター工業所, 栃木県産業技術大学校, 日信工業, 日本ケーブル・システム, 日本トムソン, 日本発条, 花塚製作所, 日高精機, フィアロコーポレーション, 富士重工, 富士精密, プリチストン, プロト, モリメ, 本田技研工業, 三菱ふそうトラック・バス

### 5 金沢工業大学

Kanazawa Institute of Technology

#### ■メンバー

(CP)竹元勝和, 平井学, 松岡恵子, 清水悠介, 荒井学, 渡邊直弘, 沼田翔太, 細川祐生, 秋山崇, 亀井寛功, 嶋田恵助, 松川弘幸, 酒井宏徳, 浅田純平, 阿部慎太郎, 内水智也, 大西功規, 荻野貴史, 近藤容章, 菅居大誠, 地引雄志, 栃木偉伸, 西川彰彦, 仁科友彰, 橋詰文哉, 羽馬友理恵, 藤田進, 細川徹, (FA)谷正史



#### ■車の特徴とチームの抱負

「車両の改良」と「ドライバビリティの向上」を目指した結果、非常にバランスの良い車両になりました。今年はメンバーを含め、新体制で大会に望みます。僕たちに出来る全てを込めて大会で優勝を目指します。

#### ■スポンサー

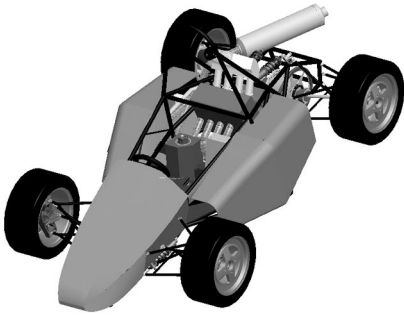
S-GRID, TOLAP, 本田技研工業

## 6 上智大学

Sophia University

### ■メンバー

(CP)谷口聡,塚本健一朗,小林哲智,矢野博之,河内辰晃,湊田隼人,矢部勲,神原洋平,亀岡謙治,横井靖,安澤巧,喜谷悠大,坂井良範,浅井崇,小田倉雅人,西村裕太,伊藤大輔,小田康隆,内藤洋輔,遠藤彰,佐藤森,泉隼太,高瀬翼,小室香菜子,高山有美子,須賀隆史,前田翔平,新谷ブルーノ,小野泰志,坂本正哉,池澤圭,柳沢豪,小林謙介,(FA)鈴木隆



### ■車の特徴とチームの抱負

4台目を迎える上智大学の車両は、熟成を目標にマシンデザインを完成させ基本に忠実に、軽量、低重心、操縦性の良さをより高次元で実現させました。勝つことを常に意識し、妥協せず大会に臨みたいと思います。

### ■スポンサー

日本SGI,ヤマハ発動機,藤壺技研工業,NTN,ミネベア,日本キスラー,横河電機,東邦テナックス,日信工業,日本ケーブル・システム,ベストックス,タカタサービス,ミヤコ自動車工業,岡島パイプ,東洋ラジエーター,ヨネタニ,アールケー・エキセル,ニチリン,東洋ゴム工業,立山アルミニウム,日本精機

## 7 金沢大学

Kanazawa University

### ■メンバー

(CP)中尾仁,大竹啓介,北本寛,西村大志,福永洋輔,元井博康,森田浩也,山藤正徳,尾形信幸,斎藤悠介,佐藤航,高橋恭平,平野栄治,前田泰良,正木健彦,水尾大志,山本健夫,島田祐介,塚野孝俊,五十嵐佳介,井上貴雄,岩崎真人,岡田拓也,長部太紀,小松祝,佐田裕介,堂本尚太,長谷川直也,林慧太郎,広瀬利次,福井龍也,古橋真人,堀場夏輝,水上勝博,村先隆志,(FA)榎本啓士



### ■車の特徴とチームの抱負

今年度は走行性、整備性、安全性、操作性を備えた車両をめざしKF2005を設計・開発しました。この車両でチーム一丸となり、目標である優勝をねらいます。

### ■スポンサー

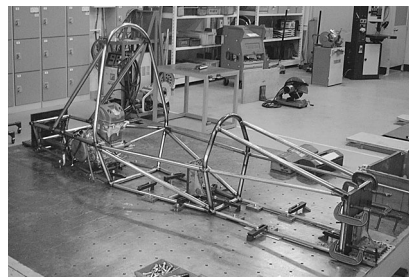
NTN, 高松機械工業, 北國新聞, ヤマハ発動機, タカサーキット, 愛三工業, 石原金属化工, 宇野酸素, ヴァンワークス, SP忠男, 江沼チエン製作所, MSCソフトウェア, OSG, 岡島パイプ製作所, キノクニエンタープライズ, 草島ラジエーター, ケインズパフォーマンスエンジニアリング, SUNSTAR, 三立化工機, スズキ, 鈴永工芸社, ソリッドワークス・ジャパン, 太洋, ダイハツ工業, 茶谷鉄工所, デイトナ, データダイナミクス, ISID, 東罐マテリアル・テクノロジー, 栃木富士産業, ナオックス, ニシムラジグ, 日信工業, JDS, NGK, 日本ペイント, ノルトロックジャパン, 阪神ねじ, プラスミュー, 古河スカイ, プロト, ボッシュ, 横浜ゴム, リテルヒューズ, ロックファスナー, 和光ケミカル, ダイド一, 轟産業, 日向製作所, BIKE ROUTE

## 8 武蔵工業大学

Musashi Institute of Technology

### ■メンバー

(CP)田代尊久,浅沼雅彦,辛島亮之,倉部陽平,児玉洋一,竹内秀允,荻原弘行,春川祐介,安藤靖浩,高橋弘治,武末直也,増田好晃,水 downstream 祐樹,(FA)三原雄司



### ■車の特徴とチームの抱負

M2005は軽量、低重心で旋回性能が高く、連続するコーナーを速く走れることを狙ったマシンである。また、2006年度大会日本一を目指し、メンバー同精一杯の努力をして最善の結果を残したい。

### ■スポンサー

アジア部品,イワモト,恭和,小山ガレージ,Garage茶畑,ソリッドワークス・ジャパン,五島育英会東急自動車学校,東日製作所,富士精密,本田技研工業,マイスタークラブ,マサダ製作所,松井製作所,武蔵工業大学,ラフ&ロード, Little Garage,レーシングサービスワタナベ

## 9 日本大学理工学部

Nihon-University College of Science and Technology

### ■メンバー

(CP)岩本光宏,上田恒,岡村誠士,敷波康介,地引彰吾,中馬正博,村田修一,泉沢幸雄,上原勇,佐藤浩頭,白石零,名波則路,前島茂利,丸井勇介,宮下千広,山崎祥史,八幡直幸,上野竜央,大辻啓貴,大友拓也,熊谷聡央,香田俊太郎,坂井貴行,坂井良平,局拓紀,八代涉,油井大地,岡弘和,勝木現,清水直樹,清水勇岐,田中祥喬,増子拓哉,松崎俊宏,丸山淳一,宮田泳司,(FA)堀内伸一郎



### ■車の特徴とチームの抱負

車両コンセプトに、競技用の自転車である「ロードレーサー」を掲げ、ドライバビリティの向上、パーツの洗練化、軽量化の3点を重点に置いた車両作りをしてきました。目標である総合成績3位入賞を達成させたいと思います。

### ■スポンサー

オカモト,関西ペイント販売,三協アルミニウム工業,エムエスシーソフトウェア,正絹工業,新日本製鐵,sparco R&D,ソフトウェアクレイドル,ソリッドワークス・ジャパン,大同工業,ツインリンクもてぎ,devil technica,中野科学,日本大学理工学部機械工学科,日本大学理工学部工作技術センター,日産自動車,ノリタケ伊勢電子,富士重工工業,BRIDGESTONE,本田技研工業,MAGURA,(MOON CRAFT,RAYS,脇田製作所(50音順)

## 10 名古屋工業大学

Nagoya Institute of Technology

### ■メンバー

(CP)市来崎康徳,猪股祐介,服部和道,中井仁,高橋亮平,大橋祐人,岩田宏貴,高木竜路,新田洋介,丹羽隆彦,西村佳祐,李誠鎬,山田智哉,田中修平,後藤伸太郎,森下徹政,近藤洋介,伊藤千洋,五藤敦,加藤雅人,穴澤匠,永田光知郎,牧野穂高,杉山翔大,西中健一郎,上田梓,杉本幸夫,浦田倫央,松井則裕,大河内一輝,高野浩平,(FA)北村憲彦



### ■車の特徴とチームの抱負

車両は、昨年度450cc単気筒エンジンを使用し最軽量を達成したマシンの設計に対し、さらにエンジンのEF化等によるエンジンパワーの向上、アルミハニカムの装着によるフレームの軽量、高剛性化をはじめとした各パーツの更なる軽量化、パドルシフト等による操作性の向上を行ないました。今大会はこのマシンとチームで動的審査上位そして、総合優勝を目指します。



# チームメンバーとスポンサー

## Team Members and Sponsors

### ■スポンサー

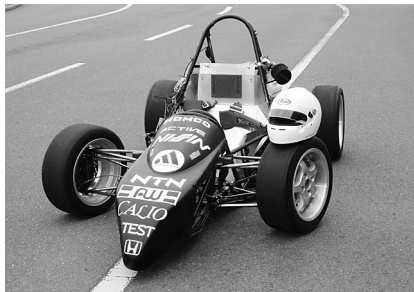
アールケーエキセル, 青山製作所, 今村工業, 岩倉ラチエター商会, エース産業, AVO MOTEC JAPAN, NTN, 岡島パイプ製作所, 加藤ギヤー製作所, コスモスジャパン, サクラ工業, Single Heart, シンポリ, ソフトウェアクレイドル, ソリッドワークス・ジャパン, 大進ステンレス工業, 大同メタル工業, ダイヘン溶接メカトロシステム, 中央発條, ツゲブラセス, デイトナ, 栃木富士産業, トリトンサーキット, トヨタ車体, 成田製作所, ねこのじてんしゃ屋さん, 古河スカイ, ミクニ, 名東歯車, モリシン工業, ヤマハ発動機, 吉浜金型工業

## 11 名古屋大学

Nagoya University

### ■メンバー

(CP) 塚本将弘, 神谷尚嗣, 高谷亮太, 後藤良典, 榊原優一, 萬智也, 小野邦宏, 安藤聡, 久保行生, 山田晋, 川合康弘, 菅沼直孝, 山脇靖広, 鈴木弘道, 早瀬亮, 原弘毅, 横山真資, 須山温人, 天野拓也, 光安皓, 山下亮, 高塚直樹, 大浦裕就, 川鍋武, 中野雄介, 桑原悠, 大脇敬司, 谷口典隆, 宮澤侑次, 秋山友彦, 富田直哉, 西本雄俊, 西田円, 池田武司, 村上亮太, 西澤郁, 野村和孝, 古城美貴子, 大堀晋也, 富田祐幸, 松浦友紀, 井村慎, 菊地裕輔, 小島孝仁, 福岡孝和, 平山雅己, 寺澤昌和, 中澤健, 小松新始, 飯塚伸介, 小原由未恵, 汲力, 若林尚貴, 澤本泰宏, (FA) 末松良一



### ■車の特徴とチームの抱負

今年は「質実剛健主義」をテーマに質の高い車作りを目指してきました。エアサスと高剛性フレームの組み合わせでしなやかな足回りを実現しています。2年目ですが動的種目1位を目指し、チーム一丸となって挑みます！

### ■スポンサー

ACTIVE, CALIO, 中部自動車, 中部自動車学校, DUNLOP, F.C.C, FIRST MOLDING, FORMEL LIEVEN, 藤本サービス, Honda Racing, 賣角ギヤー, Kart Shop ぶるーと, 幸田サーキット yrp 桐山, KYB, LA MOTO KOHSAKA, MARUJUN, モリワキエンジニアリング, NISSIN, NTN, しゃぼん玉, 新郊パイプ工業, SolidWorks・Japan, sparco, Super AutoBacs Nagoya Bay

## 12 Yeungnam University

## 13 慶応義塾大学

Keio University

### ■メンバー

(CP) 中村翼, 村松翔, 関川裕也, 三野峻徳, 内田裕之, 菅澤敏明, 及川瀬良美, 船越一平, 鈴木恭平, 橋岡大地, 鳥居孟史, 加藤彩乃, 田村秀一, 大隅俊宏, 山口綾,

坂倉玲雄, 吉村秀人, 高屋圭介, 深澤健, 桑山裕基, 永富泰次, (FA) 飯田訓正



### ■車の特徴とチームの抱負

昨年の『Easy Drive』を継承しながら、今年は運動性能の向上を第1目標とし、軽量化に重点を注いだ。「なぜベストを尽くさないのか」をチームの抱負に、絶対完走・上位入賞を狙いたい。

### ■スポンサー

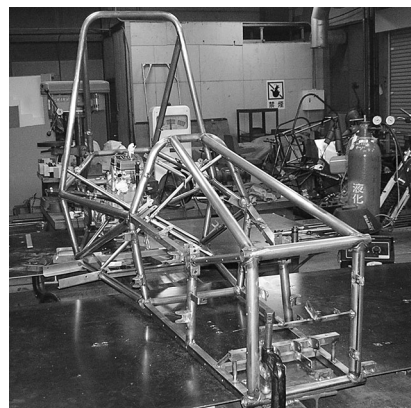
アールケー・エキセル, NTN, Castrol, カネヒロ, 関西ペイント, ケーヒン, ケーメックス, 小林機工, 子午線コンパウンド, シティカート, シバックス, 新日本コア, sparco R&D, ソリッドワークス・ジャパン, 田畑ラチエター, 東亞合成, トヨタカラー栃木, 日本ケープル・システム, ノーブ, プリヤストン, プロト, 本田技研工業, 溝口製作所, モリワキエンジニアリング, ラフアンドロードモーターサイクルズ, RAYS

## 14 名城大学

Meijo University

### ■メンバー

(CP) 石川哲平, 相坂真依子, 石崎一之進, 伊藤友洋, 近藤一輝, 塩見秀世, 安藤俊, 井森龍一, 上田裕明, 内山竜一, 小木崇雅, 富川隆之, 林勇希, 山本雅大, 渡辺禎隆, 星学文, 横里岳大, 傘谷純樹, (FA) 早藤英俊



### ■車の特徴とチームの抱負

Weight down・Cost downを怠ることなく追求し、一つ一つのパーツに設計者のこだわりを込めた車両に仕上げました。私たちはMR-03で、チーム目標を実現させます。

### ■スポンサー

ヤマハ発動機, ヨシムラジャパン, NTN, ニチリン, レーシングサービスワタナベ, 三五, やまと興業, 中央発條, 大同工業, ダッド, 京都機械工具, Cox Design, 鈴覚, WADA・WELDING, 和光ケミカル, IME, RAINBOW SPORTS, 井上ボーリング, フタキ

## 15 近畿大学理工学部

Kinki University

### ■メンバー

(CP) 中東直樹, 田中克俊, 中村和樹, 井上和博, 木津志基, 植田好弘, 山村貴幸, 能瀬篤志, 尾崎泰介, 埴岡俊希, 藤原裕尚, 筒井隼人, 森内昌平, 近江茂樹, 竹原崇皓, 渡辺真一, 森本征樹, 吉田正文, 三好克典, 村田惠梨, 足立悠真, 岩本匡司, 大西淳也, 岸田拓也, 小城智哉, 小林俊文, 小室克己, 近藤隆則, 砂本雅幸, 田中貴樹, 谷口陽郎, 新名浩明, 橋詰恵治, 林孝哉, 牧野誠司, 水口拓郎, 名生尚史, 向井康晴, 森川明彦, 山本裕祐, 吉城雄一, 佐々木正太郎, (FA) 野崎博路



### ■車の特徴とチームの抱負

目指したのは安全性と扱い易さ、乗り手が求めるマシンの製作。チームで一貫したコンセプト、目標を掲げ設計・製作を行って車両を完成させました。この考えは必ず結果に繋がると信じ、大会に挑みます！

### ■スポンサー

川崎重工業, ケーヒン, 名阪スポーツランド, 日ポリ化工, ニツコー溶材工業, ダイハツ工業, レイズ, 大同工業, ダイヘン, 日信工業, 東京アールアンドデー, NTN, サンスター技研, H K S 関西, Eagle Sport Nagai, Solid Works Japan, 三宅工業, やまと興業, 今中鋼材, ハードロック工業, 礎, ロックファスナー, Sparco R&D, 孝安産業, 旭電工社

## 16 東京大学

The University of Tokyo

### ■メンバー

(CP) 小原英明, 松下智紀, 伊藤洋一, 榎本嘉範, 大内真紀, 鈴江祥典, 千葉雄樹, 盆子原康晴, 久保雅俊, 湯村洋典, 菊池篤徳, 加治麻理子, 笹井健史, 菅原真之, 秋元健太郎, 海藤広峻, 工藤元士, 五月女真大, 中野豊, 水野朗, 藍祐史, 岩崎成記, 上村佑輔, 内富嵩, 大片慎也, 岡本拓之, 荻原知子, 音羽拓也, 神戸徹也, 小松大河, 杉本貴大, 高尾清貴, 堀内裕明, 久富誠司, 安原清英, (FA) 草加浩平



### ■車の特徴とチームの抱負

05年度マシン「UTFF-06」は「誰でも速く、楽しく、簡単に乗れる」をコンセプトとした電子制御CVT搭載のATレーシングカーです。一昨年から採用しているサイドエンジンレイアウトによるマスの集中、

低重心化を図り、高い旋回性能を実現しました。CVT制御をはじめ、マシン各部の実測データから、より信頼性を増した設計となっています。

■スポンサー

アールケー・エキセル,ITWインダストリー,ウエノシステック,NTN,エンジニア,カヤバ工業,キノクニエンタープライズ,クイック羽生,神戸製鋼,サイバネットシステム,サンスター技研,GKNドライブライン・ジャパン,シーディー・アダプコ・ジャパン,シティーカート,昭和電工,シーフォ,スズキ,スズキスポーツ,住友ゴム工業,ダウ化工,タカタサービス,電通国際情報サービス,トキコ,日本ビート工業,日本ユテック,日置電機,日立工機,ピボット,双葉電子工業,ブリッツ,プログレッシブ・サスペンション,丸一鋼管,ミスミ,水戸工業,メイラ,ヤマテ工業,ヤマハ発動機,UGS PLMソリューションズ,ヨシムラジャパン,ロックファスナー,和光ケミカル

17 静岡大学

Shizuoka University

■メンバー

(CP)岩田秀矢,米田徳如,林利久,徳田圭佑,伊藤悟,青木佳史,田島光,市川玄人,柴田祥吾,藤森光明,飯塚啓,小宮山和希,原木良輔,大力宗弘,浅井亮輔,青山松一郎,山口健太郎,落合達也,高橋賢治,上田篤志,松井彰良,仁木淳之,大地博之,穴井一也,福原久雄,山崎陽,前田大典,(FA)福田充宏,(FA)中村佳士



■車の特徴とチームの抱負

攻めた基本レイアウトはそのままに今年のマシンは、昨年のマシンを正常進化させ約40kgの軽量化を達成。それ以外にも多数の改良を行い、最低限一桁の順位を目指します。

■スポンサー

スズキ,ソリッドワークス・ジャパン,エヌアールエス,ソフテック,ミノノサイクル,サインハウス,NTN,林角,スズキスポーツ,クイック浜名,シバプリント,マルイチ,メイラ,ウエストレーシングカーズ,多くの個人スポンサーの方々

18 明星大学

Meisei University

■メンバー

(CP)須田太一,前田恭伸,佐藤真助,峯尾典明,金村佳佑,猿田祥己,西川浩二,服部昭仁,林雅洋,磯貝和也,漆原俊,大塚理崇,沖田総,宍戸直樹,小向潤,高井賢,高橋健太郎,中山徹,山崎健太郎,(FA)亀井延明



■車の特徴とチームの抱負

車両の特徴は、「誰でも乗れる車」です。フット機構とフレームにご注目ください。チームの抱負としては、昨年大会は「経験の年」今年大会では「挑戦の年」としてすべての競技を完走し、上位入賞を目指します。

■スポンサー

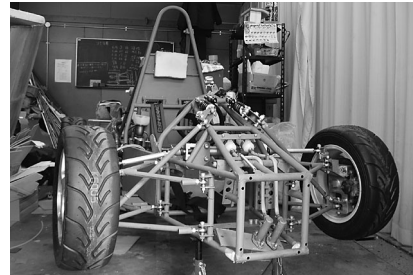
RPM,MYZ,TOM'S SPIRIT,三協ラジエータ,三友電子工業,真幸電機,SPARCO R&D,NEXT,日本ケーブル・システム,NUTEC,本田技研工業,明星大学,明星大学学生会,レアーズ

19 工学院大学

Kougakuin University

■メンバー

(CP)坊野康晴,浅野正,上原真樹,乙黒昌也,木村輔,角倉大樹,新開正志,山岸勇貴,山口力,湯尾一将,中村光宏,亀屋秀樹,國安祐一,青山秀行,前野武士,湯上秀充,(FA)飯田明由



■車の特徴とチームの抱負

工学院単独車両第1号「Yamatō」はまず車両としての基本性能をワンランク上のものを目指し、車両のスタイリングを本物のレーシングカーさながらのカウルを取り付けることにより、乗っている人間だけでなく、それを見ている人間にも満足を与えコンセプト通り「ワクワクする車」として仕上げました。

■スポンサー

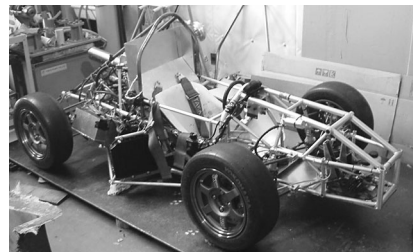
アイアールエス,RPM,ARCインターナショナル,江沼チェーン製作所,京都機械工具,弘進ゴム,スター電気製造,スポーツランドやまなし,スリオンテック,セントラル硝子,ソリッドワークス・ジャパン,THK,デンソー,トラスト,新潟精機,日立化成工業,ネジの高山,工学院大学機械工学同窓会,本田技研工業,丸一鋼管,空元鉄鋼,横浜ゴム,ロブテックス,和多屋,ヤマシン

20 京都大学

Kyoto University

■メンバー

(CP)高橋祐城,大西利武,門林義幸,福寿竜一,David Follette,上野山雅史,久瀬善治,杉原基之,永武拓,三日月豊,久野允史,高木隆史,高家理気,中村弘毅,瀧田暁,井川貴詞,井上義規,後藤和宏,佐々木正法,堀内亮,本田彬俊,村田雄一,山本亮,似吹大,今井貴史,上田智史,國村大喜,弘栄介,今莊和也,上田治明,正富祐貴,(FA)横小路泰義



■車の特徴とチームの抱負

AAAというコンセプトのもと安全性・安定性及び信頼性を犠牲にすることの無い軽量化を目指し、アルミスペースフレーム・ドライカーボン製カウルと難しい技術に積極的に取り組んでいます。

■スポンサー

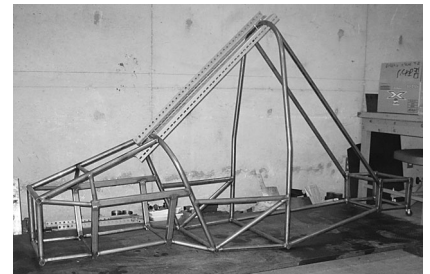
森精機製作所,ヤマハ発動機,NTN,神戸製鋼所,タイヤボックスエボルブ,ヤンマー中央研究所,デンソー,光洋精工,エムエスシーソフトウェア,ソリッドワークス・ジャパン,井尾製作所,ギャレットターボ,ウミヒラ,THK,TILTON,速水矯正歯科医院,コンテック,ラボ,エンタープライズ・ワイ,川崎重工業,レイズ,横浜ゴム,テックサーフ,ショーワ,Zexel Torsen Inc.

21 大阪大学

Osaka University

■メンバー

(CP)宮田大輔,慶田達哉,城阪哲哉,杉山幸久,伴野学,上田康文,崔真赫,稲葉大樹,井上豪,小西亮,高橋良太,佐々木真吾,橋本聡文,湯村浩平,和田裕紀,田中慎也,韓準兌,福島大志,(FA)赤松史光



■車の特徴とチームの抱負

扱いやすいCVTとトルク特性の優れるV2エンジンが特徴。それを活かせる軽量なフレームとサスペンションを設計しました。操縦性の良い車両を活かして上位を狙います。

■スポンサー

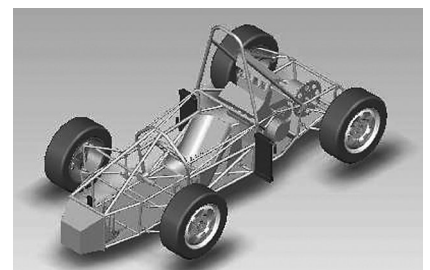
川崎重工業,ダイハツ工業,Solid works・Japan,RSタイチ,エクセディ,NTN,JFEスチール,昭和電工,クワハラバイクワークス,東洋ゴム工業,プリチストン,シグナル,ガレージMID

22 日本大学生産工学部

College of Industrial Technology, Nihon University

■メンバー

(CP)鈴木隆之,久保田陽亮,杉本直,岩井大二郎,木原祐紀,白石義和,本木寛人,五十嵐敏之,渡辺慶一,遠藤裕夢,大西英雅,押田直高,小田康晴,葛西浩平,風間祐希,岡岡直貴,佐藤拓,鈴木圭,手嶋康平,野中好文,古澤泰弘,牧田直希,吉村達矢,木村翼,鈴木崇,(FA)氏家康成





# チームメンバーとスポンサー

## Team Members and Sponsors

### ■車の特徴とチームの抱負

アップライトの材質をアルミニウムにすることにより40%近く軽量化をすることができた。昨年度動的審査を一部棄権したため今年は全種目制覇!!&上位入賞!!

### ■スポンサー

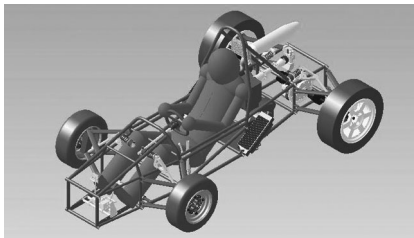
愛三工業,NTN,キャロッセ,KOWA,埼玉車体,新星機工, Solid Works・Japan,sparco R&D,日本ケーブルシステム,日本大学生産工学部機械工学科,日立産機システム,富士重工業,本田技研工業,住友電装,栃木富士産業,コスモスジャパン,矢野木材

## 23 大同工業大学

Daido Institute of Technology

### ■メンバー

(CP)小川祐一,宇賀神博行,福田一樹,平林一真,深谷浩樹,小嶋浩之,大藪泰典,水野俊亮,中嶋和人,山下徹,光澤尚晃,向創,間瀬智生,勝水紀幸,田中智康,横山和彦,(FA)伊藤昇一



### ■車の特徴とチームの抱負

SSS(トリプルS⇒Smart:車体の軽量化による走行性能の向上Simple:車体構造の単純化による整備性の向上Save energy:エネルギー効率の高い車体)を掲げ、トータルバランスで勝負します。

### ■スポンサー

ヤマハ発動機,大同学園,Solid Works・Japan,名古屋スチール,WEST RAICNG CARS,クワハラ パイクワークス,名輪商事,創造製作センター,Y S P名古屋北,愛知スズキ販売

## 24 同志社大学

Doshisha University

### ■メンバー

(CP)若邊和也,佐々祐介,渡辺公士,今中明弘,堀江俊晶,愛内一浩,迫田晃司,丸尾智彦,久保田秀典,三好雄大,渡邊靖男,田中慎也,吉原伸太郎,尾野満,古田一真,石川敬三,内木武虎,河野孝宗,松村浩明,魚谷隆太,(FA)藤井透



### ■車の特徴とチームの抱負

環境とドライバーの事を考えたSSE(Simple Safe Eco)設計。メンバーは設計初心者の寄せ集め。もう一度知恵を積み立てます。

### ■スポンサー

川崎重工業,出光興産,ソリッドワークス・ジャパン,SUNSTAR技研,住友ゴム工業,NTN,プロジェクトン,Sparco

## 25 東海大学

Tokai University

### ■メンバー

(CP)坂本優亮,椎名団,関直美,平田隼也,江藤雄吾,富田誠,山本一広,瀬能拓弥,生島伸弥,斉藤優志,松波太郎,菅原伸之介,茂木祐浩,箕浦智之,垣谷隆介,柴田隆文,大場康功,永峯雅人,成田正敬,(FA)飯島敏雄



### ■車の特徴とチームの抱負

「初心者が学べるレーシングカー」をコンセプトに、実際自分たちが楽しくドライビングすることができ、そしてかっこよく、心のそこから「ほっすい〜♪」と思えるような車輛を目指しました。記録より見る人の記憶に残る大会を目指します。大会終了後みんなでおいしい御殿場高原ビールが飲めますように!!

### ■スポンサー

スズキ,住鋳潤滑剤,日産自動車,F.P.JAPAN,横浜ゴム,本田技研工業,ミヤマ,村田ボーリング技研,井上ボーリング,P.P.技研,ティラド,ヨシムラジャパン,京都機械工具,サイバネットシステム,興和製作所,Dynapack,レイズ,AVO/MoTeC JAPAN,アールケー・エキセル,大森メーター製作所,日鐵住金溶接工業,東京チタニウム,ファーストモールドینگ,ナプス伊勢原店,鈴木製作所,NTN,アネスト岩田キャンベル,GOODRIDGE,エヌ・エム・ピー販売,トムス,サインハウス,やまと興業,ACCEL,FEDERAL MOGUL,ビーチサイドGP,日本ヴェーテック,シン

## 26 福井工業大学

Fukui University of Technology

### ■メンバー

(CP)夜久嘉宏,吉田琢,久保孝尋,尾崎直人,平生卓也,森井英悟,恩田貴,福井学,宇野嘉明,松井翔平,木下雅司,加茂哲朗,吉田圭吾,湯本裕貴,荒川裕也,大坂祐二,黒田裕紀,朝倉亮,倉元伯行,越石力,加藤将康,内藤広孝,惣次俊輔,(FA)小栗彰



### ■車の特徴とチームの抱負

昨年の反省点を生かし、それ以上のマシンを作ろうとメンバー全員団結し活動しています。今年のコセプトは誰もが操縦しやすくカートレースを気軽に楽しめるマシンとなっています。

### ■スポンサー

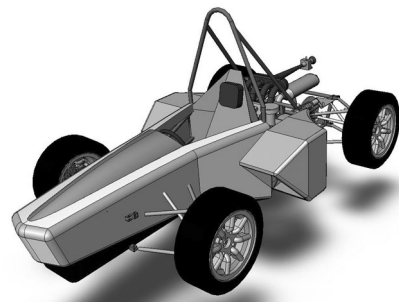
アイシンAW工業,Engine Technology MACCHINA,赤い三輪車,B P,本田技研工業,フコク,三菱ふそうトラック・バス

## 27 神戸大学

Kobe University

### ■メンバー

(CP)野村亮介,森田浩文,秋田賢二,角澤正弘,崔煌植,須佐美由香,濁川慎司,増井雄介,樹田雄気,三村暁生,保田大輔,伊藤隆裕,前田達利,友國善博,藤田誠,大宅康世,岡本康秀,高岡一哉,中塚麻衣,(FA)宋明良



### ■車の特徴とチームの抱負

「週末の爽快感」を得られる車輛としてサンデーレーサーをターゲットとした車輛を製作。運転席は小さくタイトながらもバドルシフトを採用し、運転しやうい車輛に仕上げました。チームのデザイナーの意向でSF風のデザインで見た目にも拘りを持たせました。ユーモアを武器に活躍します。

### ■スポンサー

川崎重工業,住友ゴム工業,ソリッドワークスジャパン,日本ヒューレット・パッカド,セイコー化工機,大同工業,住化バイエルウレタン,ダイハツ工業,神戸大学工学部工作技術センター,NTN,北神戸サーキット,レーシングサービスワタナベ,住友電気工業,サンスター技研,NAGAO Racing Kart Shop,ワークショップ三栄,ハードロック工業,新家工業,ミクニ,宮脇鋼管,日本ファスナー工業,ソフト99コーポレーション

## 28 東京電機大学

Tokyo Denki University

### ■メンバー

(CP)池田大輔,並木未央,野口博史,若井雅人,利光高尚,大川健太,金森巧,石山達也,(FA)小平和仙



### ■車の特徴とチームの抱負

日本大会の目標はエンデュランス完走、そして優勝です。車両コンセプトは小型・軽量です。コーナーリング性能を重視した私達の車両は、単気筒エンジンの採用によって部品の軽量小型化、車両の低重心化とマスの集中化を目指した開発を行いました。



■スポンサー

本田技研工業,柳下技研,アールケー・エキセル,アクティブカートクラブ・フェスティカ,精工社製作所,中里歯車工業,モリワキエンジニアリング,関東工業,日本通運,ホンダクリオ埼玉,YK Translation,鍋テクノロジー研究所,オージーケー販売,レーシングブラザメッカ,エス・ピー・エスアンブラコ,興和製作所,日本ケーブル・システム,日本カーボン,ケーヒン,埼玉車体,電通国際情報サービス,日本機械工業,国美コマース(サンスター),新東工業,NTN,ノバ エンジニアリング,SAE INTERNATIONAL,プロジェクト,ミスミ,ミツバ,内野製作所,レインボーモーターズスクール,日本特殊陶業(NGK),プリバード,横河デジタルコンピュータ,岡島パイプ製作所,ダイヘン溶接メカトロシステム,アクティブ(Active Corporation),寺田,和光ケミカル,高橋バネ製作所,エーシーエム日本パーカラライジング,矢口製作所,埼玉スチロール,MSCSOFTWARE,住友電装,コーヨー,中村鉄工,墨田螺子産業,ゼネラル精工,日信工業,安藤歯車製作所,井上ボーリング,新妻精機,ナガタ工業,カツキワークス,東京測器研究所,丸一ゴム工業,新星機工,ジュニアモーターパーククイック羽生,東邦工業製作所,東京パーツ工業

29 立命館大学

Ritsumeikan University

■メンバー

(CP)宇野修吾,大西潤,松本健太,丸山隼人,安東太一,一柳哲也,井下治,本山康介,森拓也,大和祥己,小柿佳紀,山東大輔,今村悠樹,来山一平,阪井亮人,望田修也,山崎甲太郎,渡部祐樹,(FA)西脇一宇



■車の特徴とチームの抱負

私達の車両のRF-002は、1960年代~70年代のFormula1の伝統的なレーシングカーデザインの車体構造を参考にデザインしました。決して革新的なマシンではありませんが、信頼性とスピードの両立を目指した車両になっています。

■スポンサー

川崎重工業,ボッシュ,エクセディ,ソリッドワークス・ジャパン,ダイハツ工業,東洋ゴム工業,近江鍛工,ケーヒン,レイズ,関西ソフラン化工,やまと興業

30 東京農工大学

Tokyo University of Agriculture Technology

■メンバー

(CP)木森将仁,知振寛明,皆川真範,成尾直樹,岡本雅己,佐野真広,宮島直希,平井駿介,石崎由也,清水達也,磯谷十蔵,古澤亜美,(FA)鎌田崇義



■車の特徴とチームの抱負

出場車両TUF1.5はマンパワー、輸送コスト削減の為、ホイール、カウルを取外した状態で、ハイエースロングへの搭載を可能としました。当チームは今回初出場となりますが、大会全体の流れを掴み、来年度の飛躍に繋げられる様、様々な事を学びたいと思います。

■スポンサー

本田技研工業,プリチストン,住友軽金属工業,THK,モトショップストラダ,ソリッドワークス・ジャパン,レイズ,NTN,埼玉車体,日本ケーブルシステム,APP,日信工業,ニチリン,新星機工,相模湖ビックニックランド,ウェストレーシングカーズ,東京農工大学機械友会,東京農工大学機械システム工学専攻

31 University of Ulusan

■Team Members

(CP)Kim Dae-woo, Lee Sang-min, Park Ji-hoon, Kim Dae-ho, Lee Young-seok, Choi Jun-young, Son Yeun-ki, Kim Jin-sik, Kim Tae-hyung, Ryu Il-hoon, Lee Gyung-min, Choi Jin-kwon, Kang In-seok, (FA) Soonyoung Yong

■Feature of car and express team wishes of the Competition

Our car can enjoy powerful driving by the turbo-charged engine and low driving position. Single spring-damper(front) system provide dynamic driving. We will enjoy the competition, learn much from another teams and do our best for our sponsors.

■Team sponsors

NURI, Il-Kwang Ind. Co., KUK'S AUTO & A.P.G, KARTINO, Shinjeong development Co., Ltd, JEWO-engineering Co., Ltd, Racing School, KOREA FLANGE Co., Ltd, Myung-Hwa Ind.co., Ltd

32 横浜国立大学

Yokohama National University

■メンバー

(CP)高橋純一,盛合健,菊地広光,横村光,村松怜香,李東原,戸坂彰彦,岡山菜緒,佐藤友哉,篤幸太郎,北田健,国谷喜洋,松本崇志,吉田幸弘,市川雄志,木下芳人,国実曜弘,後藤剛,阪井啓介,曾根竜介,高橋秀徳,田中優,友岡諒介,藤井健一,宮原優,村山達也,山田考浩,(FA)市村正明



■車の特徴とチームの抱負

大会初年度ということもあり、複雑な構造を用いず、出来るだけシンプルな車両を目指しました。しかし、そのシンプルさの中にも「コンパクト」「高出力」「軽量化」という3つの課題を掲げ、純粋に走り勝負できる、絞り込んだ車両を作ることが出来たと思います。目指すは表彰台の頂上のみ。チーム一丸となって、初参加初優勝の偉業を成し遂げたいと意気込んでいます。

■スポンサー

S-GRID,オートデスク,日本精工,ショーワ,電通国際情報サービス,クイック羽生,新星機工,スパルコR&D,住友ゴム工業,大同特殊鋼,辰巳屋興業,THK,とくさん,日信工業,日本発条,FCS ファイバークラフトサトウ,本田技研工業,MOTUL(テクノイルジャポンK.K.),ムソー工業,TWMC

33 近畿大学工学部

Kinki University School of Engineering

■メンバー

(CP)新屋敷晃,井上泰夫,真鍋喬,池本憲史,上瀬大輔,清原千晴,古後強志,戸野貴子,宮脇圭吾,森園紘行,横山偉,山地貴士,成田侑也,森岡泰裕,夏目栄佑,田ノ上知宏,島貫達也,(FA)清水正則



■車の特徴とチームの抱負

車両コンセプトは「for Family」。家族のみんなが運転でき、楽しむことが出来る車両を開発してきました。この車両を武器に、全競技参加・完走を目指します。

■スポンサー

川崎重工業,ダイハツ工業,セイミ産業,NTN,マツダ,マツダE&T,マツダレンタカー,グリーンパーク弘楽園,ソリッドワークス・ジャパン,広島アルミニウム,エイ・エム・エス,中央工業,岡田造船

34 東京理科大学

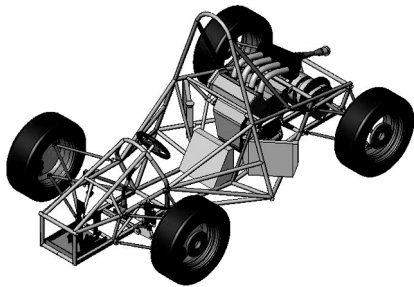
Tokyo University of Science

■メンバー

(CP)山田誉,西村泰輔,木田祐介,尾崎大輔,早川毅,星野雄太,隠田敬二,宮川正平,牧野総一郎,川本晃大,丹治進,早船浩一,相田一樹,小国陽平,保坂陸実,高田良平,佐藤勝則,片瀬周平,坪井利樹,堀越智也,石井聡,神野優輔,高木智宏,東田裕司,松坂拓,安居鉦平,東賢佑,泉水佑介,三谷歳秋,(FA)野口昭治

# チームメンバーとスポンサー

## Team Members and Sponsors



### ■車の特徴とチームの抱負

『百花斉放~high ability~』のコンセプトのもと、車両の構成要素だけでなくメンバー全員が個性という色を花として咲かせることで大きな可能性のある車両を開発しました。初参加で全競技参加・完走を実現します！

### ■スポンサー

NTN,エムエスシーソフトウェア,エムエフマツモト,キャロッセ,グッドリッジ,サンウェーブ工業,昭和高分子,スポーツカーズ,ソリッドワークス・ジャパン,ダウ化工,電通国際情報サービス,東京R&D,日信工業,日本グラファイトファイバー,ニッポンレンタカーサービス(初石店),平澤鉄構,ファーストモールドィング,本田技研工業,湯浅レジン工業,ユニバーサルツイン,横浜ゴム,RSワタナベ

## 35 高知工科大学

Kochi University of Technology

### ■メンバー

(CP)大野晃裕,吉井仁一,今上悠大,稲荷博文,湯浅智則,浜田拓次,田村和之,吉井基晴,松田浩伸,松本直樹,山下泰弘,山本真司,渡部宏樹,山本泰士,田村佳介,浜田正広,西森智哉,青木涉,和田清,辺戸名朝史,徳永基弘,富永盛夫,大西貴久,香川真彰,浅木星哉,石井龍樹,寺井輝晃,吉田潤平,(FA)山口信次



### ■車の特徴とチームの抱負

「とにかくシンプルに」。最初の設計目標はそこから始まりました。今年の結果は次回に活かせることを前提に車両開発を進めてきました。今年は来年以降のための布石として、四国初として良い結果を出していきたいと思っています。

### ■スポンサー

新井鉄工所,Kochi Classic and Sports car Club,浜田製作所,SBS高知,Ke~FACTORY,ネットトヨタ南国,モーターランドたぢかわ,タイヤガーデンM-HOUSE,高知工科大学知能機械システム工学科,その他個人様

## 36 Gyeongdo Provincial College

## 37 九州工業大学

Kyushu Institute of Technology

### ■メンバー

(CP)達富正英,古川武,山根昌晃,長谷川幸太,大久保麻衣,野村嘉志,大久保潤一,石川元一,藺田真哉,前田正弘,福田純一,山下耕太郎,田中健司,伊藤哲平,河野浩紀,(FA)河部徹



### ■車の特徴とチームの抱負

今回、私たちのチームは初出場でありながら、優勝することをも念頭に置き設計した。この目標に向かうために以下の二つのことを考慮して設計した。一つ目はドライバーの操縦性および快適性を重要視した。通常、レースに勝てるマシンは運動性能の向上の為、操作性は追及されても快適性は犠牲になることが多い。しかし、この相反する目標を実現することで、プロレーサーと違い十分なトレーニングを日常的に行うことが困難なアマチュアドライバーにも過度の負担を強いることなく、レースに勝てるマシンを目指した。二つ目は加工性及び、生産性を重要視した。この理由は、今回初出場であることより、加工も未熟であり、またノウハウもない。このことを考慮して加工及び組み立てを簡易化することを考慮し設計した。

### ■スポンサー

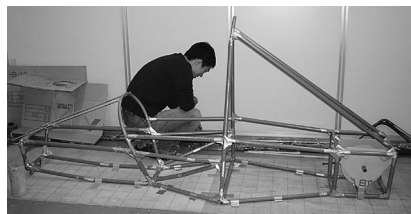
電通国際情報サービス,エムエスシーソフトウェア,アルテアエンジニアリング,NTN,ゼンリン,ホンダライフショップ南小倉店,ケン・マツウラレーシングサービス,明専会,共同シャフト

## 38 千葉大学

Chiba University

### ■メンバー

(CP)田中豪,荒井俊行,兒玉崇,高木光太郎,多賀谷直人,田中洵介,土肥雅人,湯浅康治,渡部慶紀,朴成桓,太田友康,大坪尚彦,川合徳明,眞島薫,矢野佑一郎,山田壮登,内田亮,岡田猛志,小川雄也,海田一哉,武居康仁,千葉健太郎,土肥学,吉野かおり,石川泰平,内川芳亮,大平悠多,楨大地,三位大介,村上学,浅野靖昌,河上まきほ,成松宏一郎,中村桂土,福田雄太,浅野周一郎,柏崎大,木村真也,国枝佑樹,齋木広太郎,菅井洋,北原雅之,柴山博久,中瀬拓也,孤島永周,芹澤智裕,森田匡人,佐野正樹,勝田淳平,若下貴司,久万徹郎,湯浅亮平,若田直衛,渡邊久美子,渡邊和,荒井直樹,小宮山寛幸,(FA)森吉泰生



### ■車の特徴とチームの抱負

『乗る楽しさ』『見る楽しさ』『いじる楽しさ』をコンセプトにマシンを設計しました。昨年結成されたばかりの初出場チームですが、全動的種目の完走を目指し、大会に臨みたいと思います。

### ■スポンサー

本田技研工業,千葉大学工学同窓会,日本精工,プリチーストン,レイズ,Toyoda-Koki Automotive Torsen North America Inc,YK・サポート・オフィス,葵不動産,ゴッドマザー

## 39 岡山大学

Okayama University

### ■メンバー

(CP)福原健人,石田貴久,妹島達憲,治久丸貴史,門脇拓也,坂本大典,竹本怜史,北條明,北山直嗣,砂田祐太,高田陽平,中澤正典,渡辺大,(FA)河原伸幸



### ■車の特徴とチームの抱負

今年度の大会が初出場となる我が校にとって、活動目標を「大会完走」とし、車体設計の面では壊れない・完成度の高い車を製作するため、車体設計段階から製作工程を考え、製作技術が必要としないものを心がけました。

### ■スポンサー

内山工業,川崎重工,住友ゴム,ソリッドワークス・ジャパン,NTN

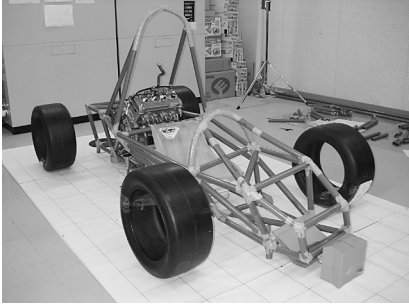
## 40 茨城大学

Ibaraki University

### ■メンバー

(CP)江川尚史,飯泉克章,臼井亮,川村善徳,太田有紀,吉澤英明,吉原庸介,渡辺聡,阿部俊之,五来隆徳,鈴木一宏,西田聡,萩谷淳史,平尾真志,牧野匡吾,村岡恵一,関充皓,中山雄策,(FA)西野創一郎





■車の特徴とチームの抱負

高剛性フレームとキャンバー特性にこだわったサスペンションで、ドライバーへ曲がる楽しさと安心を与えられるよう設計しました。目標は全競技に参加し、耐久走行を完走することです。

■スポンサー

茨城県経営品質協議会,NTN,カドワキ,河村製作所,北関東ラヂエーター,小峰製作所,ソリッドワークス・ジャパン,東プレ,南海部品水戸店,日立オートモティブシステム,フジヤマ,プリチストン,本田技研工業,宮本製作所,レーシングサービスワタナベ,他個人スポンサーの方々

41 信州大学

Shinshu University

■メンバー

(CP)小林史英,伊藤純平,岡田祐樹,加藤智之,高柳良太,戸高健二,若林康郎,上野山泰斗,大崎円香,里見崇徳,西島拓郎,山口浩明,北原康利,高山安広,須藤卓也,中田祐樹,長瀬昌親,(FA)榎本祐嗣



■車の特徴とチームの抱負

信州大学繊維学部を中心としたメンバーで構成されています。全国に2つしかない学部ですので、その特色を活かした車両の製作を行っています。今大会の目標は、新人賞です。

■スポンサー

永大産業,カウベルエンジニアリング,光洋精工,サイベックコーポレーション,材料プロセス研究所,産業技術総合研究所,J-ケミカル,スズキ,千曲会,長野計器,日信工業,本田技研工業,三葉製作所,横浜ゴム,ラナビック

42 ホンダインターナショナルテクニカルスクール

Honda International Technical School

■メンバー

(CP)松ノ下佑樹,相沢直樹,五十嵐健陽,大藪賢二,謝献治,尾藤琢人,上原拓也,大野洋樹,塩部祥大,砂見和宏,石川雅規,磯野哲宏,小嶺幸裕,石川正頼,

斉藤健一,上田修,角張憲吾,杉山裕一,鈴木基大,遠藤周,(FA)杉田正司



■車の特徴とチームの抱負

今年初参加ですが、初めてを言い訳にせず、妥協もせず理想のマシンを設計しました。カウルデザインも今までの国内外大会に無いものです。活動を通して学んだものは“チャレンジ精神”。このマシンで目指すはポディウムの頂点です！

■スポンサー

本田技研工業,円陣家至高,BRD,サイクルファクトリーARAI,常盤,メイワカーシステム,大同メタル工業,栗崎歯車製作所,三京,13METAL WORKS,杉山ホーム

43 東北支部大学連合

United Universities of TOHOKU

■メンバー

(CP)山本尚樹,浜田喜信,新井優作,磯濱隆宏,小野崎祐介,田内一志,平岡頌,石戸谷望,石原亘,大久保輝,岡崎善衛,岡部佑耶,小野寺巧,小林博則,田中貴之,谷村大輔,宮田浩正,望月洋治郎,井上慶一,関川育,松本和也,森頭士朗,荒河修里,瓜啓孝,小木曾貴文,小熊聡,小倉怜,島添孝則,高屋佑正,(FA)杉本尚哉



■車の特徴とチームの抱負

マシンコンセプトは「エントリーフォーミュラ」。年齢面、金銭面で余裕がないようなユーザーがトップフォーミュラを目指せる車両を目指します。4大学連携チームで大会での走行を目指してがんばります。

■スポンサー

本田技研工業,東北マツダ,レーシングチーム ZAP SPEED(前田 剛秀)

44 東京工業大学

Tokyo Institute of Technology

■メンバー

(CP)井上正則,唐津拓也,水野克俊,中野孝亮,上曉彦,平井隆詞,鐘ヶ江俊輔,風間大輔,林下剛,伊藤翔太,巽陽一,大竹進,齋藤拓也,原恭輔,佐藤直,尹磊磊,津田里志,鷲津敬太,忠田誠司,小林陽,渡壁陽平,(FA)松井幸雄



■車の特徴とチームの抱負

初年度参加ですが、周囲の期待を裏切らないよう、全力でがんばります。マシンはユニークなエンジン前後逆転配置で、マスの集中化やスペース効率に優れています。強力なライバルがそろっていますが優勝を狙います。

■スポンサー

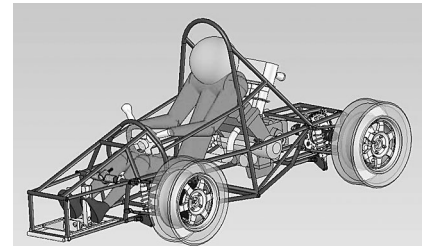
本田技研工業,東京工業大学

45 早稲田大学

Waseda University

■メンバー

(CP)鈴木大樹,長門美帆子,秋吉俊哉,大久保達,坂口直矢,佐藤真,鈴木景子,西口剛史,山田祐祐,山田悠馬,大塚正士,大谷航太郎,来島優,畑野賢明,牧野元成,山口達,渡辺大介,佐山友祐,飯田巨祐,井上翔太,岩田知士,上田直人,江本遼平,大野圭祐,小川聡,金子智,国沢悠来,小林弘樹,酒井秀,加藤弘祐,坂井拓斗,佐川智彦,佐々木菜美,鈴木健太郎,藤井元氣,安田彩香,前田大志郎,池田亮彦,前坂健介,大榎直樹,稲垣岳也,岡正哉,小林頌,佐々木祐治,重見優子,田中康大,田中峻,中島希光,沼俊成,秦崇彰,古谷豪,見田悠子,吉田裕紀,(FA)大聖泰弘



■車の特徴とチームの抱負

ジムカーナとダートトライアルに加えて自動車部初の試みである、学生フォーミュラ大会に挑戦し、勝利の場を拡大します。3年計画の一年目と位置づけ、初年度は「基本」を大切にしていきます。

■スポンサー

本田技研工業,横浜ゴム,ソリッドワークス・ジャパン,RICO LAND,永田達商店,キソパワーツール,エフ・シー・シー,NTN,レイズ,ウエストレーシングカーズ,国美コマース,ウィンマックス,アッソ,キャロッセ,カミマル,早稲田大学工作実験室

注)

(CP) チームキャプテン  
(FA) ファカルティアアドバイザー

# 主催・後援・協賛 大会スタッフ

## Organisers / Sponsors / Co-Sponsors / Competition Staff

**主催：** 自動車技術会

**後援：** 文部科学省, 経済産業省, 国土交通省, 静岡県, 日本自動車工業会, NHK, 東京放送, フジテレビジョン, テレビ朝日, 朝日新聞社, 読売新聞社, 毎日新聞社, 日本経済新聞社, 日刊工業新聞社, フジサンケイビジネスアイ, 日刊自動車新聞社, FISITA

**協賛：** 産業技術総合研究所, 交通安全環境研究所, 計測自動制御学会, 公立大学協会, 潤滑油協会, 日本設計工学会, 日本機械学会, 日本工学会, 日本工学教育協会, 日本ゴム工業会, 日本材料学会, 日本自動車研究所, 日本自動車車体工業会, 日本自動車タイヤ協会, 日本自動車販売協会連合会, 日本自動車部品工業会, 日本自動車連盟, 日本私立大学協会, 日本私立大学連盟, 溶接学会

### 大会本部

大会委員長 高原正雄(いすゞ中央研究所) 大会副委員長 内山田竹志(トヨタ自動車)  
審査委員長 杉山智之(本田技術研究所) 競技委員長 石田繁夫(ジャットコ)  
本部スタッフ 三枝信雄(日産自動車), 石田孝明(日産自動車), 大星祐司(本田技術研究所), 大野翔(トヨタ自動車), 永谷秀夫(トヨタ自動車)

### 大会スタッフ

#### 審査 【車検】

※ 石田孝明(日産自動車), 名倉孝弘(ヤマハ発動機), 田中秀夫(ブリヂストン), 小西昌之(小野測器), 久本昭彦(小野測器), 吉沢公輔(小野測器), 田中克宜(富士重工業), 本田篤(川崎重工業), 阪口史朗(川崎重工業), 安井信博(スズキ), 小屋栄太郎(本田技術研究所), 丸山晃(三菱自動車工業), 小島康嗣(ダイハツ工業), 粟田真司(トヨタ自動車), 森本清仁(トヨタ自動車), 桜井秀明(トヨタ自動車), 橋本健太郎(ダイハツ工業), 坂井敏之(本田技術研究所), 山口淳一(トヨタ自動車), 山岸康一(トヨタ自動車), 西英之(マツダ), 松澤卓(横浜国立大学), 浜口康彦(上智大学), 関根太郎(日本大学), 吉田幸司(日本大学), 小柳貢士(日産自動車), 橋本隆志(日産自動車), 日産自動車, カルソニックカンセイ, 横浜ゴム

#### 【静的審査】

※ 大星祐司(本田技術研究所), 山田哲朗(ヤマハ発動機), 山田益雄(アイシン精機), 山崎健一(本田技研工業), 武田伸彦(豊田自動織機), 石坂建治(いすゞ自動車), 西沢男(いすゞ自動車), 飯野龍雄(富士重工業), 小松平佳(富士重工業), 豊田一雄(富士重工業), 養安徹彦(川崎重工業), 鈴木裕人(日産車体), 小佐野修一(日野自動車), 鈴木浩一(日野自動車), 廣瀬護(スズキ), 山下和彦(スズキ), 則岡明仁(日産ディーゼル工業), 宇田川雄司(日産ディーゼル工業), 中村忠能(本田技術研究所), 廣政直紀(本田技術研究所), 小泉伸一(本田技術研究所), 沢田護(デンソー), 羽深清一(デンソー), 東野元(ダイハツ工業), 河田哲明(トヨタ自動車), 戸田宗敬(トヨタ自動車), 岩田正晴(トヨタ車体), 平木亨(三菱自動車), 北川博己(トヨタ自動車), 今井和彦(トヨタ自動車), 上野宏(日産自動車), 遠藤聡(日産自動車), 中田清文(日産自動車), 伊藤利彦(日産自動車), 中島裕(日産自動車), 日産自動車

#### 【動的審査】

※ 永谷秀夫(トヨタ自動車), 田中敬一(東洋ゴム工業), 河野幸治(東洋ゴム工業), 嶋村誠(富士重工業), 小林興次(ヤマハ発動機), 畠山浩二(日野自動車), 岡部晃成(住友ゴム), 岡崎昭仁(日産ディーゼル工業), 菊池政幸(本田技術研究所), 岩間俊和(本田技術研究所), 塘春佳(ホンダエンジニアリング), 堀智之(デンソー), 小野寺正洋(ヤマハ発動機), 渡辺賢一(ヤマハ発動機), 葛西宏樹(三菱自動車工業), 谷口泰孝(三菱自動車工業), 柴山隆(三菱自動車工業), 長田一日郎(ジャットコ), 北澤孝弘(ジャットコ), 山口秀巳(ダイハツ工業), 柳原孝則(ダイハツ工業), 佐々木憲生(ダイハツ工業), 中村聡(本田技術研究所), 鶴飼龍太(トヨタ自動車), 長谷川富康(トヨタ自動車), 角谷充則(トヨタ自動車), 田中英幸(トヨタ自動車), 浅田勲(マツダ), 高原勇樹(マツダ), 鶴飼憲(トヨタ自動車), 渡辺誠(トヨタ自動車), 矢吹久(トヨタ自動車), 土屋直則(トヨタ自動車), 田川誠太郎(トヨタ自動車), 杉口誠一郎(東洋ゴム工業), 山本進弥(東洋ゴム工業), 谷内理一(住友ゴム), 桐生明典(本田技術研究所), 伊藤由賀里(本田技術研究所), 穀野竜一(本田技術研究所), 山口進治(トヨタ自動車), 千葉学(日産自動車), 藤澤徹(神奈川工科大学), 柳澤秀吉(東京大学), トヨタテクノサービス, 日産自動車, 川崎重工業, 木村元昭(日本大学)

※はイベントキャプテン

**大会事務局** 三枝信雄(日産自動車), 望月正人(いすゞ自動車), 古屋昂平(日産テクノ), 清水祐子(日本発条), 平野雅久(ヤマハ発動機), 藤井宙征(アイシン精機), 村山裕哉(スズキ), 岡秀樹(スズキ), 中川貴智(スズキ), 中村博(本田技研工業), 久米川多賀夫(デンソー), 本田康裕(国士館大学), 青木滋(本田技研工業), 大野翔(トヨタテクノサービス), 大須賀和男(トヨタ自動車), 島岡信次(マツダ), 渡部昭(本田技術研究所), 狩野芳郎(神奈川工科大学), 安富綾平(マツダ), 塩原大介(トヨタ自動車), 小宮敏也(トヨタ自動車), 斉藤正和(トヨタ自動車), 小鳥幸一(トヨタ自動車), 宇田和史(神奈川工科大学), 伊藤宏一(航空工業高等専門学校), 秋野裕, 田部雅彦(ハース), 宮本純(ハース), 吉崎一匡(ハース), 村山由香(ハース), 木村敏則(自動車技術会), 浦尾皓二(自動車技術会), 福留正彦(自動車技術会), 高橋周孝(自動車技術会), 小高徹(自動車技術会)

**学生** 神奈川工科大学, 福井工業大学, 金沢大学, 横浜国立大学, 芝浦工業大学, 東京理科大学, 日本大学生産工学部, 高知工科大学, 大阪大学, 宇都宮大学, 名古屋大学, 名城大学, 東京大学, 同志社大学, 静岡大学, 近畿大学理工学部, 東海大学, ホンダインターナショナルテクニカルスクール, 信州大学, 東京電機大学, 明星大学, 立命館大学, 京都大学, 九州工業大学, 日本大学理工学部, 名古屋工業大学



### 全日本 学生フォーミュラ委員会

委員長	高原 正雄	いすゞ中央研究所	委員	坂本 昭博	スズキ
副委員長	杉山 智之	本田技術研究所		島田 豊彦	日本自動車部品工業会
委員	石田 繁夫	ジャトコ		田保 栄三	三菱自動車工業
	岩崎 充男	日本自動車車体工業会		名尾 良泰	日本自動車工業会
	内山田 竹志	トヨタ自動車		樋口 世喜夫	自動車技術会
	大須賀 和男	トヨタ自動車		藤田 尚宣	日野自動車
	小高 松男	交通安全環境研究所		丸本 明	マツダ
	加藤 幹夫	本田技術研究所		宮尾 博保	ヤマハ発動機
	金内 良雄	川崎重工業		三宅 信弘	デンソー
	工藤 一郎	富士重工業		森下 勝之	ダイハツ工業
	後藤 新一	産業技術総合研究所			

### 全日本 学生フォーミュラ委員会戦略チーム

リーダー	石田 繁夫	ジャトコ	委員	樋口 世喜夫	自動車技術会
サブリーダー	杉山 智之	本田技術研究所		吉田 幸司	日本大学
委員	内山田 竹志	トヨタ自動車	オブザーバ	高原 正雄	いすゞ中央研究所

### 全日本 学生フォーミュラルール委員会

委員長	伊藤 宏一	航空工業高等専門学校	委員	石田 孝明	日産自動車
副委員長	山岸 康一	トヨタ自動車		本田 篤	川崎重工業
				吉田 幸司	日本大学

### 第3回 全日本 学生フォーミュラ実行委員会

委員長	三枝 信雄	日産自動車	委員	岡 秀樹	スズキ
副委員長	石田 孝明	日産自動車		狩野 芳郎	神奈川工科大学
	大野 翔	トヨタテクノサービス		中村 博	本田技研工業
	大星 祐司	本田技術研究所		永谷 秀夫	トヨタ自動車
委員	飯野 龍雄	富士重工業	アドバイザー	大須賀 和男	トヨタ自動車
	伊藤 宏一	航空工業高等専門学校			

### 第3回 全日本 学生フォーミュラ広報WG

リーダー	中村 博	本田技研工業	委員	中川 貴智	スズキ
------	------	--------	----	-------	-----

### 第3回 全日本 学生フォーミュラスポンサーWG

リーダー	中村 博	本田技研工業	委員	大須賀 和男	トヨタ自動車
				三枝 信雄	日産自動車

### 第3回 全日本 学生フォーミュラ運営WG

リーダー	三枝 信雄	日産自動車	委員	高村 昭生	小野測器
委員	豊田 一雄	富士重工業		田中 秀夫	ブリチストン
	五十嵐 満	住友ゴム工業株式会社		田部 雅彦	ハーズ
	浦尾 皓二	自動車技術会		平野 雅久	ヤマハ発動機
	福留 正彦	自動車技術会		藤井 宙征	アイシン精機
	岡 秀樹	スズキ		望月 正人	いすゞ自動車
	金澤 正嗣	東洋ゴム工業		渡部 昭	本田技術研究所
	木村 俊則	自動車技術会		白石 暁	横浜ゴム
	久米川 多賀夫	デンソー		原島 清隆	日本自動車連盟
	島岡 信次	マツダ			

### 第3回 全日本 学生フォーミュラ競技・審査WG

リーダー	大野 翔	トヨタテクノサービス	委員	狩野 芳郎	神奈川工科大学
委員	石田 孝明	日産自動車		永谷 秀夫	トヨタ自動車
	大星 裕司	本田技術研究所			

# Formula SAE® とは

## About Formula SAE® Competition Overview

### Formula SAE® とは

『ものづくりによる実践的な学生教育プログラム』としてFormula SAE®(SAE International主催)が1981年(4輪自動車生産で日本が米国を追い抜き世界一になった翌年)に米国で初めて開催された。この大会の前身は1976年に開催されたオフロードの8馬力バギーの製作競技で、これが1978年にオンロードのミニインディとして発展し、1981年にシャシーだけでなくエンジンも設計・製作する現在のFormula SAE®に発展したものである。

学生のみで組織されたチームが、約1年間でフォーミュラスタイルのレーシングマシンを製作し、その設計・製作能力、製作したマシンの性能を競う総合競技。第1回大会のエントリーはわずか6校で、競技参加は4校だったが、25回目を迎えた2005年はエントリー枠の140校がメット前に一杯になりエントリーできないチームが出たが、12カ国からチームが参加し、国際的な競技会に発展している。

大会のホスト役は、最初の10年間は全米各地の大学が担い、1991年GM、92年フォード、93年クライスラーが担い、94年以降は米国ビッグ3とSAE Internationalがコンソーシアムを結成し大会のホスト役を担っている。米国企業は、Formula SAE®が自動車関連企業にとって即戦力となる技術者を育成する大会であると認知している。日本からは、2000年に5大学1高専の合同チームが初参戦し、2001年は2チームが、2002年は3チームが、2003年は3チームが、2004年、2005年には4チームが参戦している。

### 世界各地で開催されるフォーミュラ大会

Formula SAE®に、英国のリーズ大学が北米以外からのチームとして1997年に初めて参戦した。その翌年の1998年、英国にてFormula Student英国大会が開催され、今では50チーム以上が参加するヨーロッパ大会に発展している(日本からも2003年以降毎年1~2チームが参戦している)。また、2000年からイギリス、北米のチームが招待されるFormula SAE® Australasia豪州大会が開催され、20チーム程が参加する大会に発展してきている(日本からは2002年、2003年に1チームが参戦している)。

#### 2005 Formula SAE®【米国】

アメリカ合衆国	87チーム
カナダ	17チーム
日本	4チーム
ベネズエラ	4チーム
韓国	2チーム
オーストラリア	2チーム
ブラジル、フィンランド、イギリス	
シンガポール、プエルトリコ、メキシコ	
……各1チーム	
合計	122チーム(12カ国)

#### 2004 第2回 全日本 学生フォーミュラ大会【日本】

日本	25チーム
アメリカ合衆国	1チーム
イギリス	1チーム
韓国	1チーム
合計	28チーム(4カ国)

#### 2004 Formula SAE® Australasia【豪州】

オーストラリア	18チーム
アメリカ合衆国	2チーム
イギリス	1チーム
ニュージーランド	1チーム
合計	22チーム(4カ国)

#### 2004 Formula Student【英国】

イギリス	20チーム
カナダ	5チーム
ドイツ	4チーム
オーストラリア、スウェーデン	各3チーム
イタリア、オーストリア、日本、	
フランス、アメリカ合衆国	各2チーム
アイルランド、インド、オランダ、韓国、	
ギリシャ、スペイン、スロベニア、	
フィンランド、ポルトガル	各1チーム
合計	54チーム(19カ国)

# 大会開催の経緯

## History of Competition

### 2000 Formula SAE® に初挑戦

1997年4月、自動車技術会関東支部の学生自動車研究会のなかに「Challenge! Formula SAE®」プロジェクトが発足し、基本設計、空力特性などを検討した。1998年4月、5大学1高専の合同チーム「Challenge! NIPPON」チームが発足し、エンジンは国士館大学、ワイヤハーネスは上智大学、メインフレームは東京都立航空工業高等専門学校、カウルは日本大学、サスペンション、ステアリング、組み立ては神奈川工科大学が担当した。

Formula SAE®は、排気量610cc以下の4サイクルエンジンの使用が義務づけられている。「Challenge! NIPPON」チームは、軽自動車の660ccエンジンをストロークダウンにより610cc以下に改造し、縦置きミッドシップ後輪駆動方式を採用した。排気量608cc、車両質量360kg、FRP製フルカウルの車両で、2000年5月のFormula SAE®にアジア地域から初参戦した。総合成績は、参加104チーム中28位で、初参加の優秀チームに贈られる新人賞を受賞した。

以降、2001年は、国士館大学・上智大学・日本大学の合同チーム、神奈川工科大学の単独チームが参戦した。2000 Formula SAE®プロジェクトでは活動方針、進行管理などについては担当の先生に委ねがちであったが、2001 Formula SAE®ではマネジメント、進行管理、広報活動についても学生自身が自ら行った。参加125チーム中合同チーム91位、神奈川工科大チーム92位。

2002年は3チームが単独校として参戦し、参加125チーム中、国士館大学チーム74位、神奈川工科大学チーム77位、上智大学チーム86位。



2000年合同チームの車両



2001年合同チームの車両



2001年神奈川工科大学チーム

### 日本大会に向けてのトライアルイベント開催

トライアルイベントは、本大会開催に向けた大会運営リハーサルと位置づけ、2001年9月23、24日にツインリンクもてぎで開催した。参加車両は、2000 Formula SAE®参戦の合同チーム車両J-001、2001 Formula SAE®参戦の合同チーム車両J-002と神奈川工科大学チーム車両K-001の3台。Formula SAE®で行われている車検、静的評価、動的評価を一通り行った。このトライアルイベントにより一通りの大会運営ノウハウを得、2003年の本大会開催に向けて本格的な準備を進めることになった。

### 第1回 全日本 学生フォーミュラ大会に向けての試走会開催

2003年9月開催の第1回全日本学生フォーミュラ大会、および5月開催の2003 Formula SAE®に向けた試走会を3月10、11日、関東支部が主催し、ツインリンクもてぎ北ショートコースにて開催した。参加車両は、宇都宮大学・明星大学合同、神奈川工科大学、国士館大学、東京電機大学、東京大学、慶應大学、武蔵工業大学、金沢工業大学の8チーム。その他、走行会に車両製作が間に合わなかったが第1回大会に参加を予定しているチームや、第2回以降の大会参加を目指し見学参加した大学を含め24大学、総勢400名近い盛大な走行会となった。車検、練習走行、ブレーキテストを行い、これらをパスした5台の車両が加速、スキッドパッド、周回コースを走行した。

この他にも、同年8月2,3日にアイシン精機藤岡テストコース（豊田市藤岡町）にて中部支部と関西支部を主体にした試走会が開催された。



2002年国士館大学チーム



2001年トライアルイベント



# 第1回ドキュメント

## 1st Competition Results

### 第1回大会 (2003.9.10~12)

第1回大会は、翌週から大改修が予定されている富士スピードウェイで開催された。57の企業・団体などにスポンサーになっていただき、当初の予想を上回る国内17チーム(大学16チーム、高専1チーム)が参加し、約1200名が参加する盛大な大会となった。カーメーカー、部品メーカー、大学教員および学生などのスタッフ160名、概数ではあるがチームメンバー400名、プレス関係者100名、見学者500名で総勢1,160名が参加した。

一日目は、車検、プレゼンテーション、設計審査、コスト審査を行った。二日目は、朝からアクセラレーション、スキッドパッドを行い、その後オートクロスとエンデュランスを行ったが、全体的に競技の進行が遅れ気味となり、エンデュランスは予定を大幅に下回り2台が走り終えたところで日没のために競技を終えた。三日目は、エンデュランス、設計最終審査を行い全競技を無事に終えた。競技終了チームを対象に富士スピードウェイのレーシングコースにてパレードラップを行い、自分たちが製作した車両がレーシングコースを颯爽と走る姿を目の当たりにした学生たちは大きな感動と興奮に浸った。

総合成績は、SAE大会を経験している上智大学、国士舘大学に続き、SAE大会を経験していない東京大学がベスト3に入った。

順位	学校名	合計得点	順位	学校名	合計得点
1位	上智大学	825.11	10位	金沢工業大学	363.98
2位	国士舘大学	815.35	11位	東京都立航空高専	298.45
3位	東京大学	703.78	12位	名古屋工業大学	273.83
4位	神奈川工科大学	575.33	13位	武蔵工業大学	225.18
5位	宇都宮大学	556.88	14位	同志社大学	180.50
6位	金沢大学	524.80	15位	慶応義塾大学	115.60
7位	日本大学理工学部	519.84	16位	日本大学生産工学部	-59.10
8位	名城大学	399.54	17位	大阪大学	-70.60
9位	東京電機大学	389.38			



【総合1位】上智大学

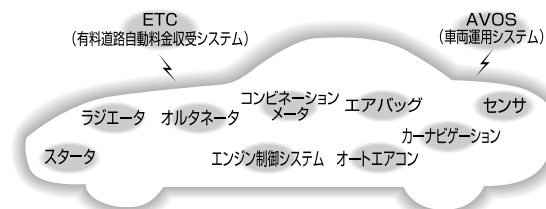
# DENSO

## Moving Technology



クルマの新たな可能性を開くために。  
デンソーは、新たな技術を探求しつづけます。

ムービングテクノロジー。それは、進化を続け、決してとどまることなく躍動するデンソーの技術。私たちは、クルマ全体を見つめ、製品をシステムとして考えることで、より安全、快適で、環境にもやさしいクルマづくりに貢献していきます。さらには、情報化を進める技術を深め、クルマの新たな可能性を次々と開いていきたい。私たちがめざすのは、デンソーの技術や製品の進化が、人々に感動をもたらし、クルマの進化をしっかりと支えていくことなのです。



株式会社デンソー 〒448-8661 愛知県刈谷市昭和町1-1  
インターネットホームページ <http://www.denso.co.jp/>

# 第2回ドキュメント

## 2<sup>nd</sup> Competition Results

### 第2回大会 (2004.8.30~9.2)

第2回大会は、ツインリンクもてぎで開催した。企業・団体など101のスポンサーを得て、エントリー34チーム、大会には海外の3チームを含む28チームが参加した。参加者は約1,530名で、その内訳はスタッフ230名、チームメンバー600名、プレス関係者100名、一般見学者600名にのぼり、第1回大会に比べチーム数・参加者数とも大幅に増え盛大な大会となった。

一日目は、車検とプレゼンテーションを行った。

二日目の未明から午前にかけて台風による強風が会場を襲いテントの半数以上が飛ばされる被害を被った。二日目の競技、ホテル内で行うプレゼンテーションは予定通り進めることができたが、強風がおさまった10時半過ぎに破損したままのテントで、車検、設計審査、コスト審査を開始し、午後から予定よりやや遅れてアクセラレーションとスキッドパッドを開始した。

三日目は、よい天気恵まれ予定通りアクセラレーション、スキッドパッド、オートクロス競技を終えた。その後、チームの強い要望もあつて大会関係者全員の集合写真撮影を行った。

四日目は、午前中雨天でコースのあちこちに大きな水溜りができ、小止みになると水溜りの水をはいてコース整備を行うという状況が繰り返された。降雨の状況を見つつエンデュランス開始のタイミングを見計らっていたが、天候の回復が直ぐには望めない状況が続き、午後一番に予定していたデザインファイナルを午前に変更した。やや天気が回復してきた11時頃に、周回路22周の予定を12周に変更し、エンデュランスを開始し、無事に終わることができた。また、表彰式も途中から土砂降りの雨にみまわれたが、そのまま続行し、何とか大会を終えることができた。

総合成績は、トータルスコアで他チームに大きな差をつけたテキサス大学アーリントン校が優勝し、SAE大会の経験を積み重ねてきた神奈川工科大学、国土館大学がベスト3に入った。第2回大会から総合成績最優秀チームに経済産業大臣賞が贈られた。



【総合1位】 University of Texas at Arlington



【総合2位】 神奈川工科大学



【総合3位】 国土館大学

順位	学校名	合計得点
1位	University of Texas at Arlington	832.5
2位	神奈川工科大学	680.1
3位	国土館大学	677.7
4位	芝浦工業大学	622.9
5位	宇都宮大学	622.6
6位	金沢工業大学	612.4
7位	上智大学	575.2
8位	金沢大学	524.1
9位	武蔵工業大学	520.6
10位	日本大学理工学部	435.7
11位	名古屋工業大学	433.8
12位	名古屋大学	409.4
13位	Yeungnam University	322.3
14位	慶應義塾大学	318.3
15位	名城大学	221
16位	近畿大学	206.2
17位	東京大学	205.2
18位	静岡大学	178.4
19位	明星大学・工学院大学	165.4
20位	京都大学	164.4
21位	大阪大学	151.3
22位	日本大学生産工学部	120.1
23位	大同工業大学	105.7
24位	同志社大学	89.6
25位	東海大学	77.2
26位	福井工業大学	73.4
27位	Leeds University	40.8
28位	神戸大学	-40.7

### 学生フォーミュラ大会に参加して

神奈川工科大学  
ファカルティアドバイザー 安部正人

本学システムデザイン工学科は、第1回学生フォーミュラ大会から参加させていただいているが、この大会のみならず、2000年に日本の大学としてはじめてアメリカのフォーミュラSAEコンペティションに参加して以来、本年まで連続的に参加してきた。日本におけるこの種のいわゆるフォーミュラプロジェクトの各大学への普及の速度は急速であり、昨年の第2回大会での海外からの参加も含めたアクティビティーには目を見張るものがあった。その理由は色々あるにしても、基本的には、このプロジェクトを大学教育の一環として取り込むことは、「これまでの日本の工学教育における海外に比較した弱点を補う切り札になる」という基本的な共通認識があるからと判断して良いものと思う。本学も、“Product Oriented Engineering Education(POEE)”を教育の基本理念として、昨年の第2回大会の後にMini International Symposium on POEEを開催し、現在のフォーミュラプロジェクトの成果と問題点、今後の課題などについて内外の大学からの参加者間で議論した。

現在の本学システムデザイン工学科においては、フォーミュラプロジェクトを何とか正式にカリキュラムの中に取り入れる努力をしている。しかし現時点ではそれが十分であるとはいえない。さらにこの方向でカリキュラム編成の検討を進めて行く予定である。なお、基礎的な科目およびその基本的な応用の学習は学科として不可欠であり、それがさまざまな形でフォーミュラプロジェクトと関連付けられるような工夫が必要と考えているが、一方逆に、競技のRegulationやCompetitionの内容、Ruleなどが、もちろん実社会の「もの」の製造を反映するものであると同時に、大学における教育や研究の側面が反映するものにしていく必要も大いにあると考えている。第2回大会においてデザイン審査の審査委員長であられた東京電機大学の佐野先生から、審査の過程や単なるタイムを競う競技という観点からではない、各大学の車両の設計・製作に関する講評が、教育という観点から行われた。大学が期待するフォーミュラプロジェクトの本来の趣旨からして大いに歓迎されるものであった。このような企画が今後も大会の中にきちんと位置づけられるべきものと思う。動的イベントに過大のウエイトを置くと、いわゆる世の中の「モータースポーツ」と同じイメージで、体育会系の同好会やクラブの活動のようになり勝ちであり、本来の趣旨、意義が失われやすい。そして、結局は「ああ……、やっぱりそうか……。」という評価を受けてしまう恐れがあることを参加者全員が意識的に認識すべきである。

本学におけるフォーミュラプロジェクトの活動は、現システムデザイン工学科におけるカリキュラムの中の1, 2年次に配当された科目「システムデザインプロジェクトI, II」の受講者および、それ以降、卒研生、大学院までの任意参加学生をベースにチームを編成することによって行われている。明年度からは総合的な工業製品としての自動車を例にした魅力的な創成工学教育を行い、自動車などの機械システム製品に関連する先端的な研究開発教育を行う学科、つまり総合製品としての自動車をひとつの例にした創成工学、技術開発工学の教育研究を行う「自動車システム開発工学科(計画中)」を新設する予定である。この学科では、フォーミュラプロジェクトは重要なカリキュラムの一翼を担うことになる予定であり、さらに積極的にこの学生フォーミュラ大会に参加するだけでなく、アメリカや、イギリス、オーストラリアなどで開催されている大会にも参加し、さらに海外の大学との交流をはかって行くことになるものと考えている。

フォーミュラプロジェクトなど創成工学教育を大学の教育の中で積極的に取り入れて行くためには、産業側からの様々な形での協力をいただくことが不可欠である。このような大会を含め、様々な機会を通じてご支援をいただきながら進んで行きたいと思うし、学生諸君もこのような試みは、実は、新しい工学教育の最先端の中に自分たちはいま居るのだ、という自負と誇りを持ってこの新しい試み、そして、この大会に参加して欲しいものである。





## 第2回 学生フォーミュラ大会参戦記

国士舘大学 Kokushikan Racing  
プロジェクトリーダー 上田 岳史

「第三位 国士舘大学。」私はこの言葉を今でも良く思い出す。第二回学生フォーミュラ大会の総合成績である。あの時の気持ちは今でも上手く表現できないが、この日を境に自分の中で何かが変わったのは確かだ。



第二回学生フォーミュラ大会は昨年の富士スピードウェイからツインリンクもてぎに会場を移し、8月30日から4日間にわたって、海外チーム3校含め計34校で夏の強い日差しのもと、皆1年間の成果を発揮すべく、汗だくになりながら車両に携わっていたのを思い出す。

我が国士舘レーシングはこの年、エンジンを変更し、今までのチームの特色でもあった、軽自動車エンジンにターボ過給という仕様から軽量コンパクトでハイパワーなバイクのエンジンに変更したことから、車両パッケージが大きく変わり、チームとしても大きな転換期を迎えた年だった。しかしスケジュール管理のあまさから、設計が遅れてしまい、それに追従する形でシェイクダウンも予定から遅れてしまった。また前担当者との引継ぎもままならぬままのアメリカ大会出場に危機感を覚えているのは私だけではないだろう。この状況の中、総合成績33位という成績を残せたのもチーム全員が一丸となり、強い団結力のもと戦い抜いたからに違いないと思っている。

この自信を胸に戦った、第二回学生フォーミュラ大会。もちろん目標は優勝。しかし、私達の前に大きな壁として立ち上がったチームがいた。それはアメリカから来たテキサス大学だ。もちろんこのテキサス大学、アメリカ大会においても毎年上位に食い込む強豪チームだという認識はあった。しかし結果からいうと、惨敗の一言。車の作り、独創性、そして、他を圧倒する速さ。正直、レベルの違いを見せ付けられた気がした。この違いはいったい何なのか。この疑問に夜も眠れず考え込んだのはきっと私だけでは無いはずだ。この大会に参加した全員が感じたに違いない。よく歴史の違いと簡単に流す人がいる。しかし、私はそうは思わない。自ら負けを認めてしまえば、そこから先はないと思っている。

私達国士舘レーシング一同は強い信念を持っている。この気持ちが絶えぬ限りこのチームは強くなると信じている。私はこのチームのプロジェクトリーダーを勤めさせてもらっていることを誇りに思う。





# 大会グラビア

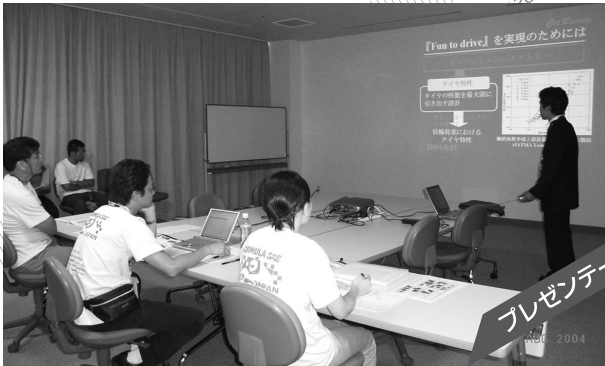
## Competition of Photos



車検



チルト



プレゼンテーション



デザイン審査



コスト審査



デザインファイナル



プラクティス







アクセラレーション



スキッドパッド



エンデュランス

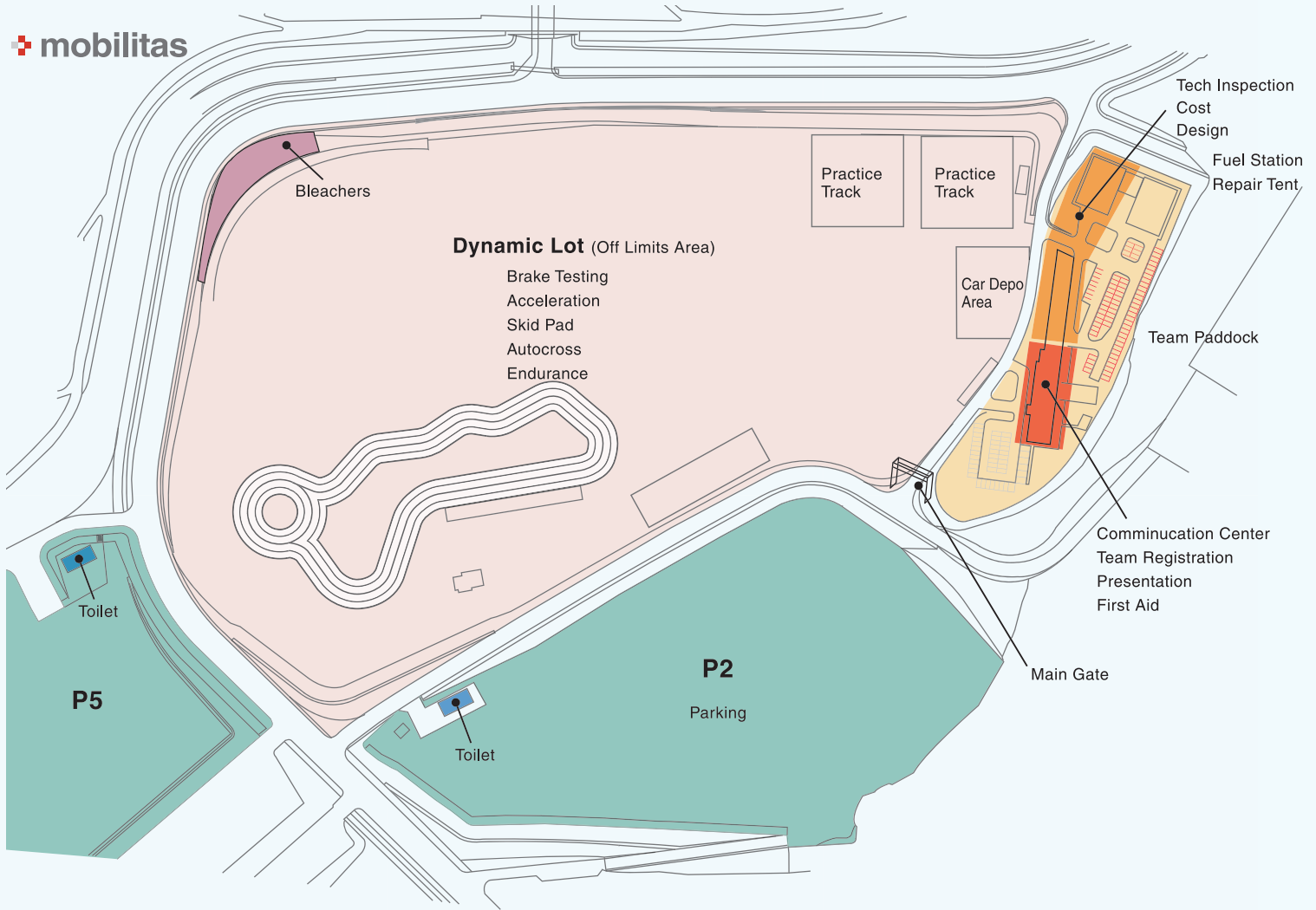


オートクロス





**mobilitas**



西ゲート  
(大会入場不可です)  
WEST GATE

**Fuji Speedway GuideMap**



**自動車でお越しの方**

[ 首都圏方面 ]

東京IC	東名高速道路 約65分	御殿場IC	約15分
東京IC	東名高速道路 約50分	大井松田IC	約30分
調布IC	中央高速道路 約65分	河口湖IC	東富士五湖道路 約15分
		須走IC	約10分

[ 静岡・名古屋方面 ]

名古屋IC	東名高速道路 約160分	御殿場IC	約15分
-------	--------------	-------	------

[ 甲府方面 ]

甲府南IC	中央高速道路 約45分	河口湖IC	東富士五湖道路 約15分
		須走IC	約10分

東ゲート  
EAST GATE  
大会受付  
【Reception】

※入場パスをお持ちでない方は、  
こちらにお立ち寄りください。